

千葉県地方創生に係るアンケート

報告書

令和4年12月

千葉県

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査の項目	2
4. この報告書の見方	2
5. 回答者の属性	2
II 調査結果の要約	7
III 調査結果の詳細	10
1. 進路に関する希望について	
(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望	10
(2) 第一志望の学校の所在地	11
2. 将来の就業に関する希望について	
(1) 就業を希望している業界	12
(2) 勤務する希望地	16
(3) 県内に勤務を希望する理由	18
(4) 県内での勤務を希望しない理由	22
3. 将来の居住地の希望について	
(1) 就業後の居住地の希望	26
(2) 県内で希望する居住地	28
(3) 県内の地域を居住地に選ぶ理由	32
(4) 県内を居住地に選ばない理由	36
(5) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	40
4. 地域の魅力について	
(1) 住んでいる地域の魅力	44
5. 居住地域・出身地域別分析	
(1) 高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望	48
(2) 高校生の第一志望の学校の所在地	49
(3) 高校生の就業を希望している業界	50
(4) 高校生の将来勤務する希望地	51
(5) 高校生の就業後の居住地の希望	52
(6) 高校生の千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	53
(7) 高校生の住んでいる地域の魅力	54
(8) 大学生・短期大学生の就業を希望している業界	55
(9) 大学生・短期大学生の将来勤務する希望地	56
(10) 大学生・短期大学生の就業後の居住地の希望	57
(11) 大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	58
(12) 大学生・短期大学生の住んでいる地域の魅力	60

I 調査概要

1. 調査の目的

本県における地方創生の着実な実現のためには、特に若い世代に居住地として選ばれることが重要であり、就職や結婚・出産・子育て、住まい等に関する希望をかなえる環境の整備などを進めることが重要である。

そのため、今後の本県の各種施策をより効果的に実施していくため、県内の高等学校生や、大学生・短期大学生を対象として、意識調査（アンケート）を実施する。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県内の高校・大学・短期大学34校（下図表参照）の生徒
- (2) 調査方法 電子アンケートで回答
- (3) 調査期間 令和4年7月1日～7月31日
- (4) 回答状況 3,319人（高校生 2,390人、大学生・短期大学生 929人）

〈図表 アンケートを配布した学校名及び回答者数〉

		学校名	種別	学区	学年		
県立高等学校	1	千葉	高等学校	1	2		
	2	千葉商業	高等学校	1	2		
	3	千葉南	高等学校	1	2		
	4	船橋	高等学校	2	2		
	5	市川工業	高等学校	2	2		
	6	松戸国際	高等学校	2	2		
	7	東葛飾	高等学校	3	2		
	8	清水	高等学校	3	2		
	9	鎌ヶ谷	高等学校	3	2		
	10	佐倉	高等学校	4	2		
	11	八街	高等学校	4	2		
	12	佐原	高等学校	5	2		
	13	東総工業	高等学校	5	2		
	14	成東	高等学校	6	2		
	15	東金商業	高等学校	6	2		
	16	長生	高等学校	7	2		
	17	一宮商業	高等学校	7	2		
	18	安房	高等学校	8	2		
	19	安房拓心	高等学校	8	2		
	20	木更津	高等学校	9	2		
	21	君津商業	高等学校	9	2		
私立高等学校	22	渋谷教育学園幕張	高等学校	—	2		
	23	市川	高等学校	—	2		
	24	芝浦工業大学柏	高等学校	—	2		
	25	成田	高等学校	—	2		
	26	敬愛大学八日市場	高等学校	—	2		
	27	横芝敬愛	高等学校	—	2		
	28	茂原北陵	高等学校	—	2		
	29	千葉県安房西	高等学校	—	2		
	30	東海大学付属市原望洋	高等学校	—	2		
						(令和4年度)	(令和3年度)
高等学校 (30校) 回答者数						2,390	1,148
短期大学・大学	31	城西国際	大学	—	—		
	32	千葉	大学	—	—		
	33	千葉敬愛	短期大学	—	1・2		
	34	千葉工業	大学	—	—		
						(令和4年度)	(令和3年度)
大学・短期大学 (4校) 回答者数						929	1,438
合計						3,319	2,586

※1:今回調査から調査方法を電子アンケートに変更し、調査対象を「第2学年の1クラス」から「第2学年全体」に拡大した。

※2:令和3年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し、調査期間を長めに設定したことにより、例年に比べ回答者数が多くなっていた。

3. 調査の項目

- (1) 進路に関する希望について（高校生のみ）
- (2) 将来の就業に関する希望について
- (3) 将来の居住地の希望について
- (4) 地域の魅力について

4. この報告書の見方

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) クロス集計の図表では、分析軸となる質問に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層のnの合計が総数とは一致しない場合がある。
- (4) 居住地域の分類にあたっては、県内を11の地域にわけ、次のように設定した。

<図表 地域設定>

地域	構成市町村
千葉地域	千葉市、市原市
葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、鎌ヶ谷市、我孫子市
印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町、栄町
香取地域	香取市、神崎町、多古町、東庄町
海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
山武地域	東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、芝山町、横芝光町
長生地域	茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町
夷隅地域	勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町
安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町
君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

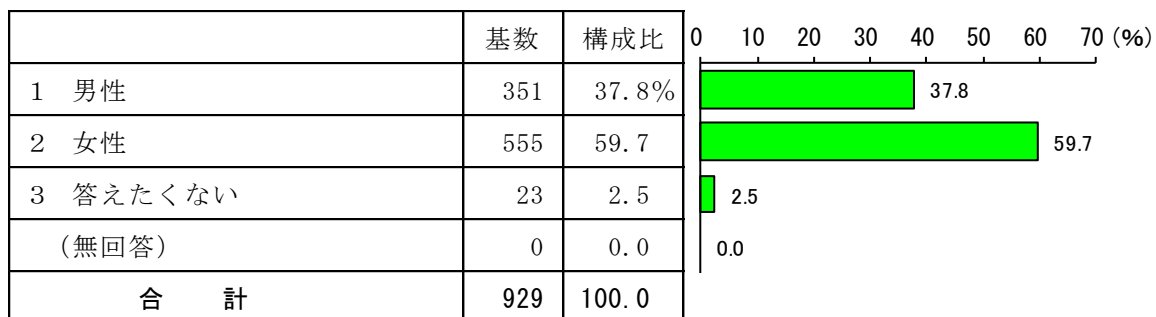
5. 回答者の属性

- (1) 性別

<図表 性別—高校生>



<図表 性別—大学生・短期大学生>



(2) 出身地

<図表 出身地—高校生>

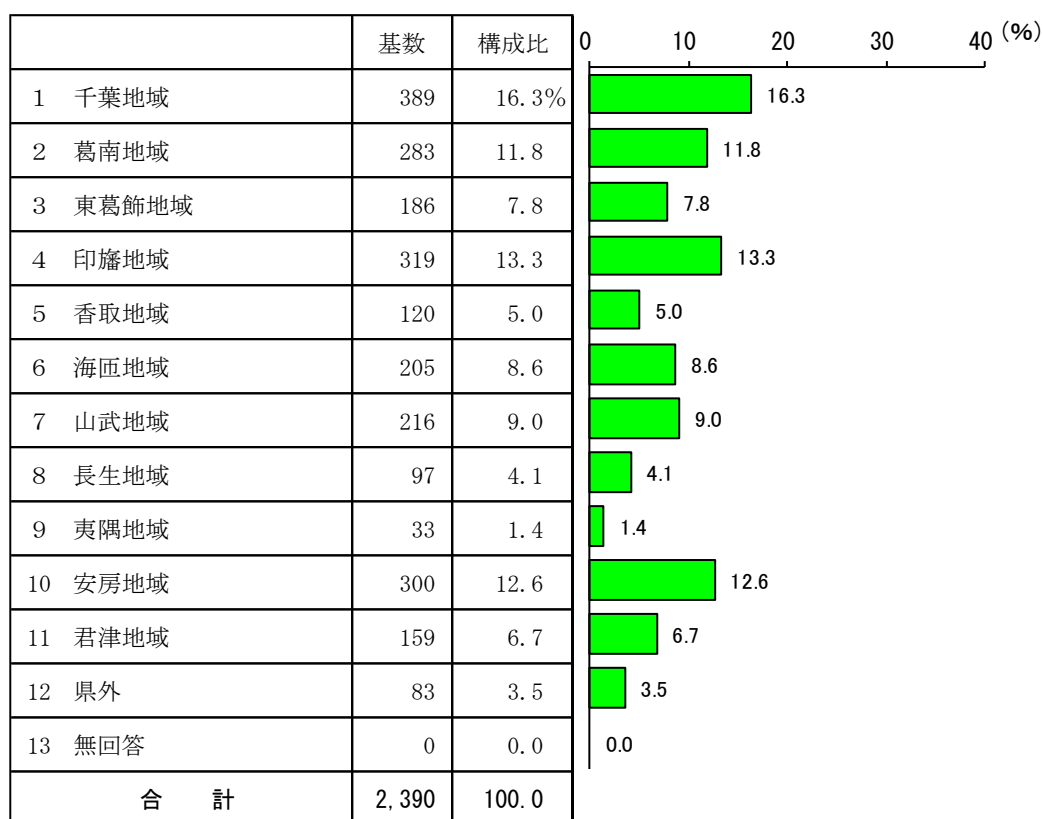


<図表 出身地—大学生・短期大学生>

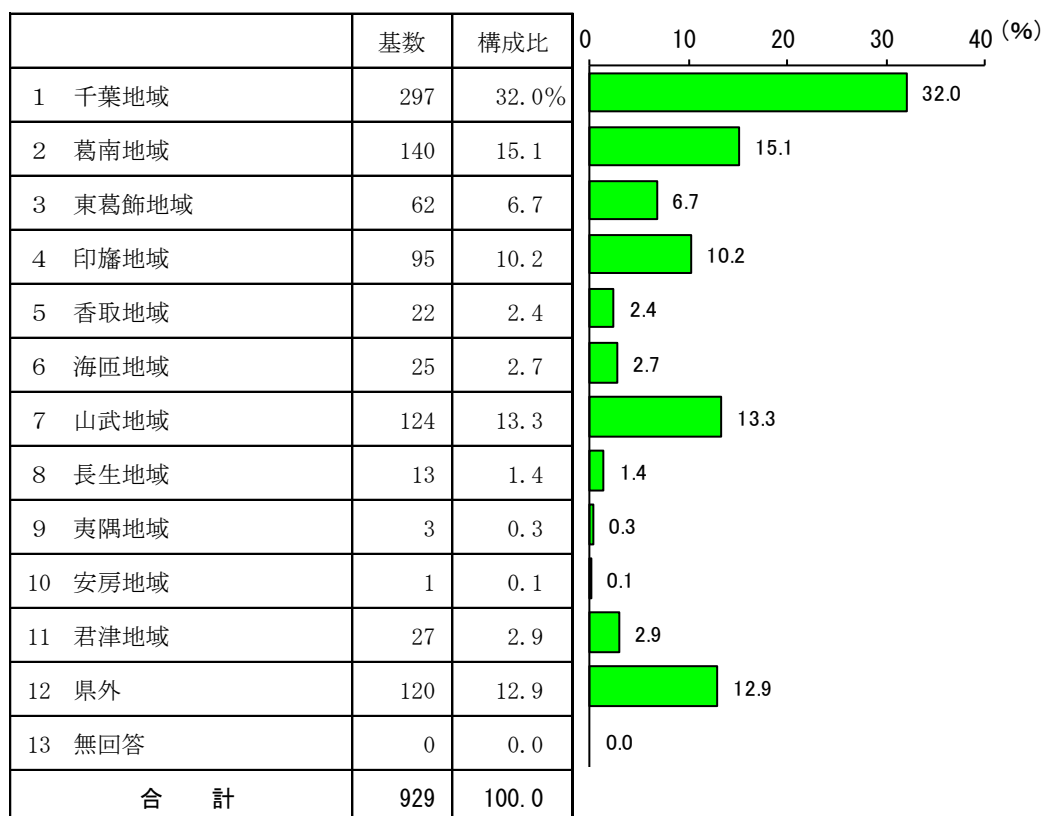


(3) 現在の居住地

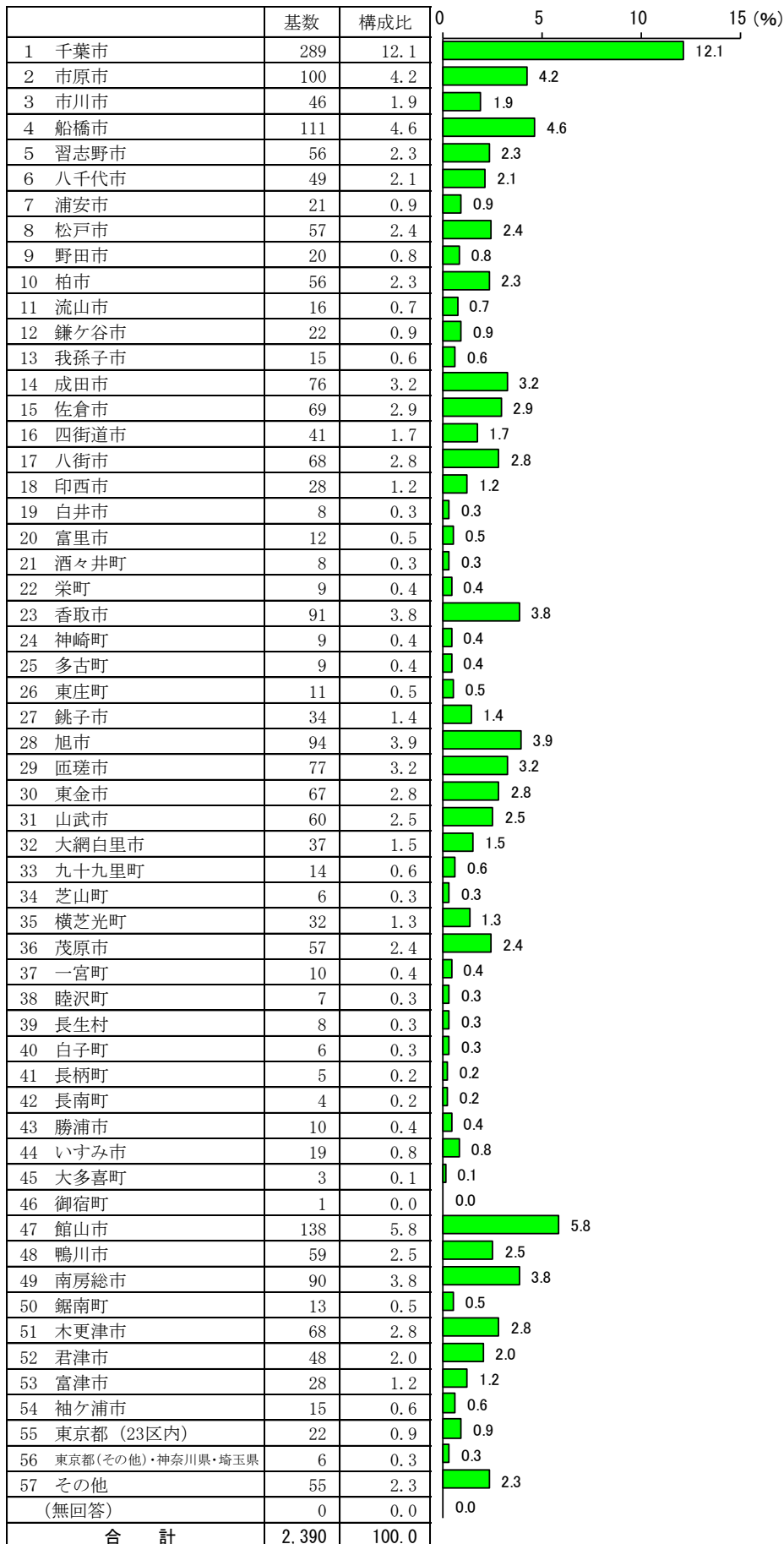
<図表 現在の居住地（地域別）－高校生>



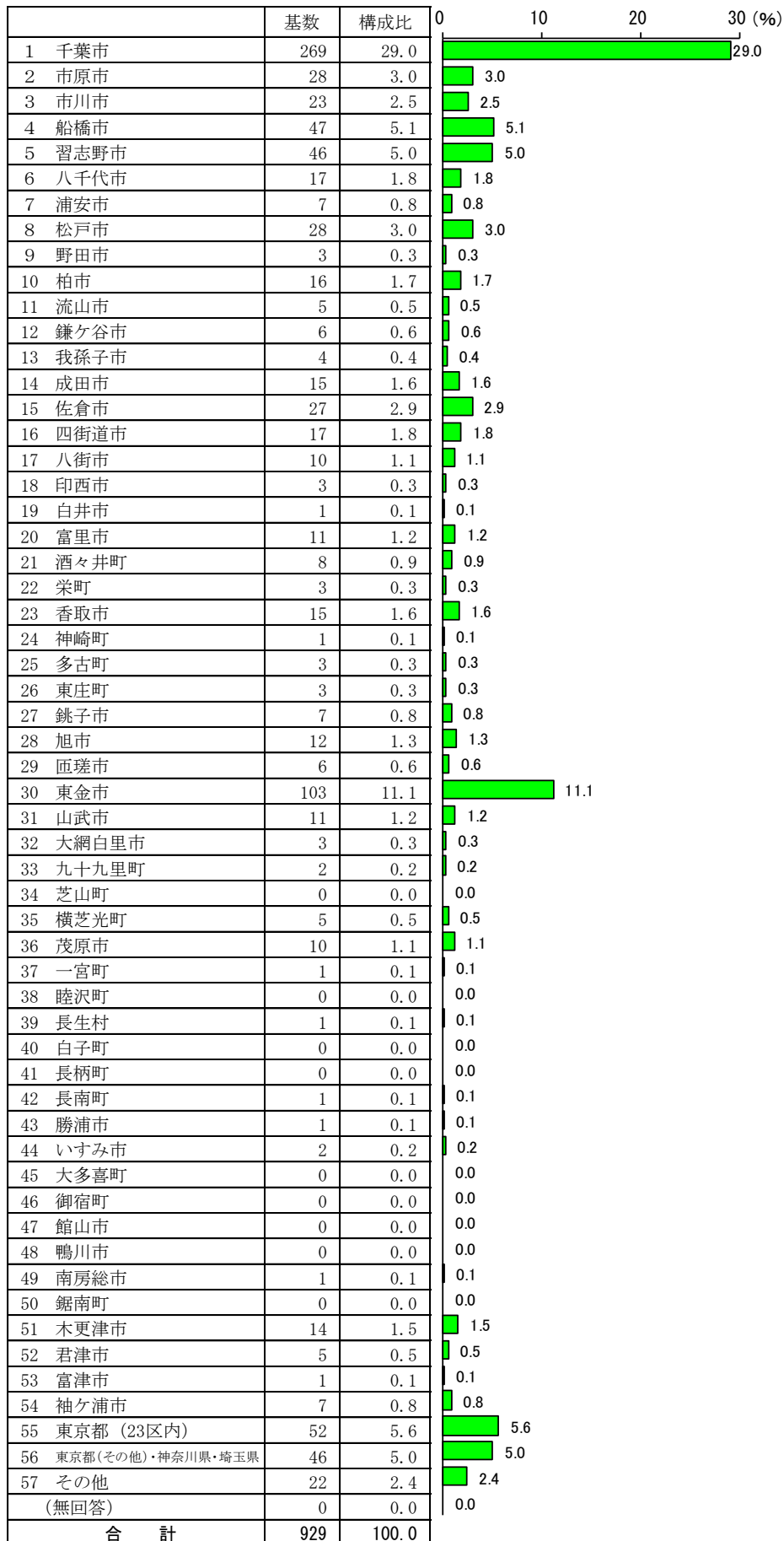
<図表 現在の居住地（地域別）－大学生・短期大学生>



<図表 現在の居住地（市町村別）－高校生>



<図表 現在の居住地（市町村別）－大学生・短期大学生>



II 調査結果の要約

1. 進路に関する希望について

(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望

高校卒業後の進路は、「四年制大学に進学」が67.7%で最も高く、次いで「就業」が13.5%、「専門学校に進学」が10.0%、「短期大学に進学」が1.3%となっている。また、「わからない」は7.2%となっている。

(2) 第一志望の学校の所在地

第一志望の学校の所在地は、「千葉県内」が30.4%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が25.9%となっている。また、「志望校が決まっていない」は21.1%となっている。

2. 将来の就業に関する希望について

(1) 就業を希望している業界

高校生の就業を希望している業界は、「医療」が11.3%で最も高く、次いで「IT関係、ソフトウェア」が9.9%、「教育、保育」が7.5%となっている。

また、「こだわらない」は5.9%、「わからない」は25.5%となっている。

大学生・短期大学生の就業を希望している業界は、「教育、保育」が25.1%で最も高く、次いで「医療」が17.1%、「IT関係、ソフトウェア」が9.3%となっている。

また、「こだわらない」は3.0%、「わからない」は7.4%となっている。

(2) 勤務する希望地

高校生の勤務する希望地は、「千葉県内」が35.5%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が18.5%となっている。また、「こだわらない」は21.5%、「わからない」は13.8%となっている。

大学生・短期大学生の勤務する希望地は、「千葉県内」が34.4%で最も高く、次いで「東京都(23区内)」が18.0%となっている。また、「こだわらない」は18.9%、「わからない」は10.1%となっている。

(3) 県内に勤務を希望する理由

高校生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利だから」が65.9%で最も高く、次いで「生活に便利だから」が35.0%、「家族や友人がいる地域(県内)で働きたいから」が32.8%、「千葉県及び地域に愛着があるから」が18.4%となっている。

大学生・短期大学生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利だから」が60.6%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域(県内)で働きたいから」が37.2%、「生活に便利だから」が36.3%、「千葉県及び地域に愛着があるから」が35.6%となっている。

(4) 県内での勤務を希望しない理由

高校生の県内での勤務を希望しない理由は、「勤務地にこだわりがないから」が43.8%で最も高く、次いで「新しい地域で働きたいから」が24.3%、「県内にどのような企業があるのか知らないから」が12.6%、「大都市圏やリゾート地などで働きたいから」が12.3%となっている。

大学生・短期大学生の県内での勤務を希望しない理由は、「勤務地にこだわりがないから」が39.9%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域（県外）で働きたいから」が18.2%、「居住地からの通勤に不便だから」が15.1%、「新しい地域で働きたいから」が14.1%、「県内にどのような企業があるのか知らないから」が14.0%となっている。

3. 将来の居住地の希望について

(1) 就業後の居住地の希望

高校生の就業後の居住地の希望は、「千葉県内」が43.5%で最も高くなっている。次いで「東京都（23区内）」が11.3%となっている。また、「こだわらない」は21.5%、「わからない」は9.7%となっている。

大学生・短期大学生の就業後の居住地の希望は、「千葉県内」が39.6%で最も高くなっている。次いで「東京都（23区内）」と「その他の地域（国内）」が11.3%となっている。また、「こだわらない」は18.0%、「わからない」は8.3%となっている。

(2) 県内で希望する居住地

高校生の県内で居住を希望する市町村は、「千葉市」が25.1%で最も高く、次いで「船橋市」が8.3%、「木更津市」が3.7%となっている。また、「県内であればどこでも良い」は16.2%となっている。

大学生・短期大学生の県内で居住を希望する市町村は、「千葉市」が29.6%で最も高く、次いで「船橋市」が11.1%、「佐倉市」が5.7%、「市川市」が4.9%となっている。また、「県内であればどこでも良い」は9.2%となっている。

(3) 県内の地域を居住地に選ぶ理由

高校生の県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が47.8%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域（県内）に住みたいから」が33.7%、「交通が便利だから」が29.4%、「都心に近いから」が25.9%となっている。

大学生・短期大学生の県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が50.8%で最も高く、次いで「交通が便利だから」が40.8%、「家族や友人がいる地域（県内）に住みたいから」が32.1%、「都心に近いから」が27.4%となっている。

(4) 県内を居住地に選ばない理由

高校生の県内を居住地に選ばない理由は、「居住地にこだわりがないから」が51.7%で最も高く、次いで「都心まで遠いから」が17.1%、「交通が不便だから」が16.1%となっている。

大学生・短期大学生の県内を居住地に選ばない理由は、「居住地にこだわりがないから」が40.8%で最も高く、次いで「県外に自宅があるから」が26.0%、「家族や友人がいる地域（県外）に住みたいから」が21.0%、「交通が不便だから」が17.1%となっている。

(5) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

高校生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「観光・レジャー施設」が29.7%で最も高く、次いで「結婚・出産・子育て環境」が25.1%、「くらしの安全・安心」が24.9%、「都心へのアクセス」が24.6%、「災害に強いまちづくり」が21.1%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が20.8%となっている。

大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「結婚・出産・子育て環境」が36.3%で最も高く、次いで「都心へのアクセス」が31.3%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が24.2%、「災害に強いまちづくり」が23.7%、「くらしの安全・安心」が23.5%となっている。

4. 地域の魅力について

(1) 住んでいる地域の魅力

高校生の現在住んでいる地域の魅力については、「まつりやスポーツなどのイベント」が34.8%で最も高く、次いで「自然環境や生活環境」が32.4%、「観光地やレジャー施設」が17.2%、「道路や鉄道などの交通環境」が15.1%となっている。

大学生・短期大学生の現在住んでいる地域の魅力については、「道路や鉄道などの交通環境」が36.7%で最も高く、次いで「自然環境や生活環境」が33.5%、「観光地やレジャー施設」が22.2%、「まつりやスポーツなどのイベント」が21.0%、「子育て環境や教育環境」が18.3%となっている。

Ⅲ 調査結果の詳細

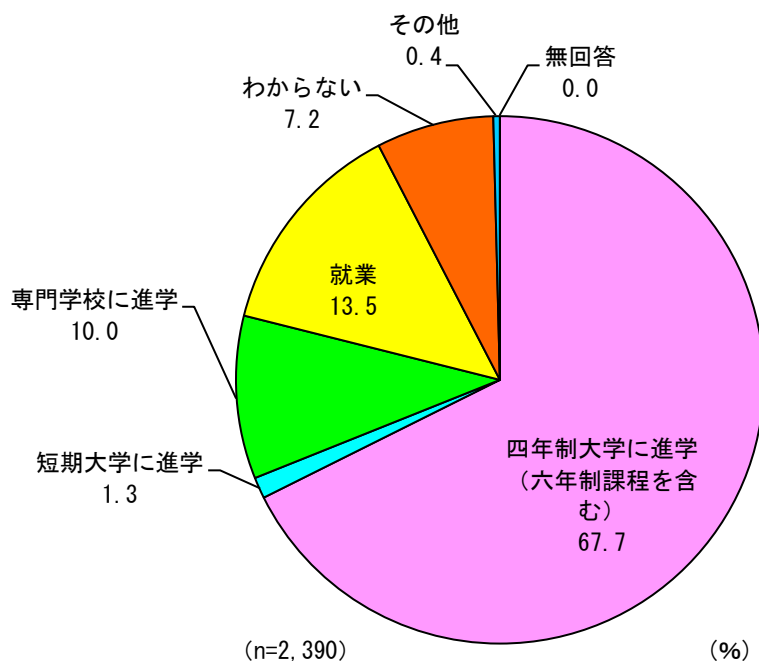
1. 進路に関する希望について

(1) 高校卒業後の進路に関する現在の希望（高校生のみ）

問 高校卒業後の進路に関する現在の希望はどれですか。

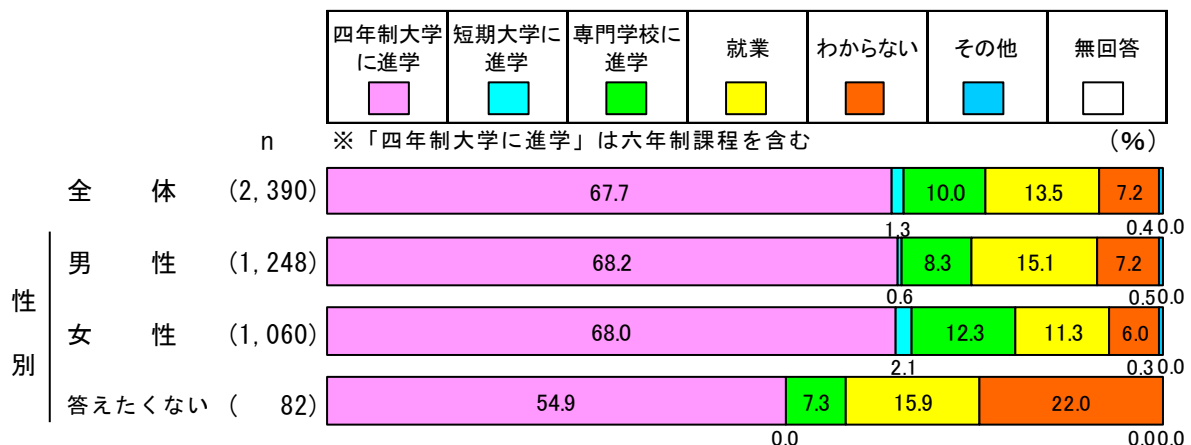
高校卒業後の進路は、「四年制大学に進学」が67.7%で最も高く、次いで「就業」が13.5%、「専門学校に進学」が10.0%、「短期大学に進学」が1.3%となっている。また、「わからない」は7.2%となっている。

<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生>



性別でみると、「就業」では男性（15.1%）が女性（11.3%）より3.8ポイント高くなっている。一方、「専門学校に進学」では女性（12.3%）が男性（8.3%）に比べ4.0ポイント高くなっている。

<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生（性別）>

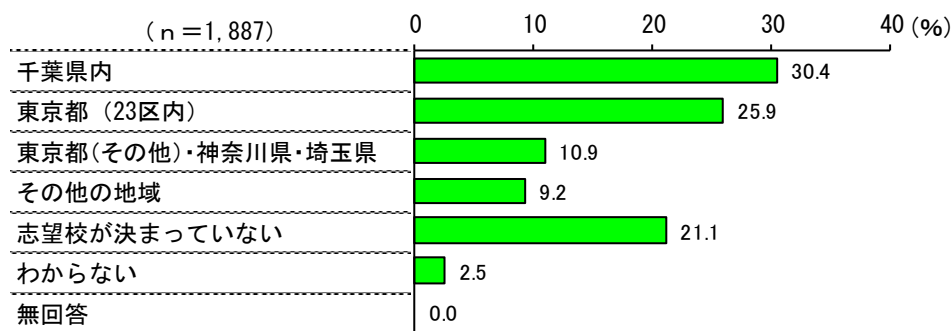


(2) 第一志望の学校の所在地（高校生のみ）

問 高校卒業後の進路に関する現在の希望で、「四年制大学に進学」「短期大学に進学」「専門学校に進学」と回答した方について、第一志望の学校の所在地はどこですか。

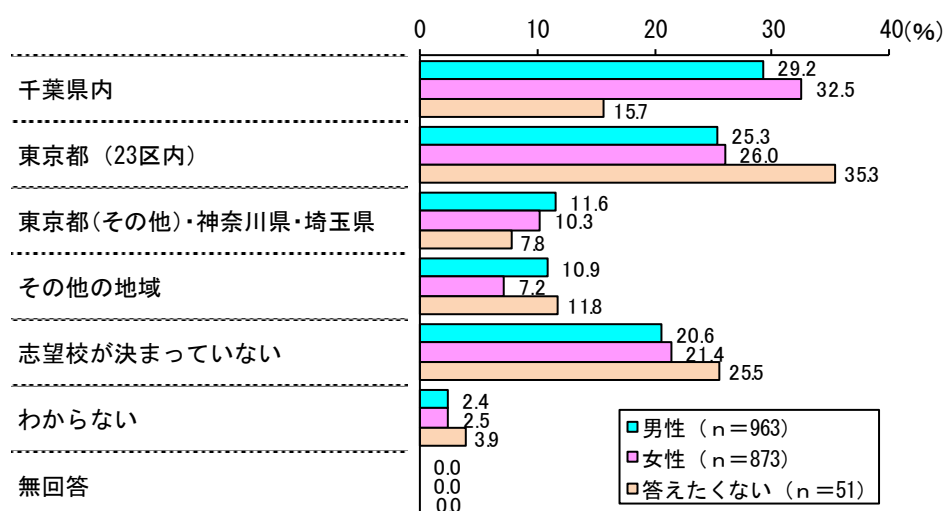
第一志望の学校の所在地は、「千葉県内」が 30.4%で最も高く、次いで「東京都（23区内）」が 25.9%となっている。また、「志望校が決まっていない」は 21.1%となっている。

<図表 第一志望の学校の所在地－高校生>



性別でみると、「その他の地域」では男性（10.9%）が女性（7.2%）より 3.7 ポイント高くなっている。一方、「千葉県内」では女性（32.5%）が男性（29.2%）より 3.3 ポイント高くなっている。

<図表 第一志望の学校の所在地－高校生（性別）>



2. 将来の就業に関する希望について

(1) 就業を希望している業界

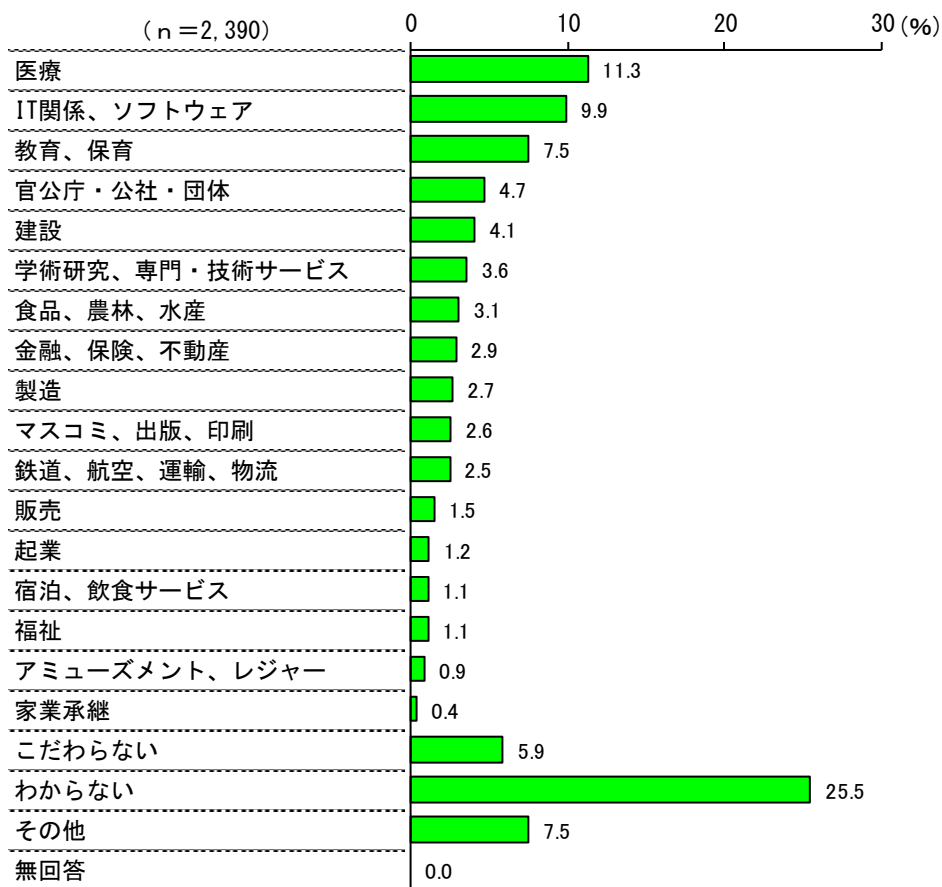
問 将来（高校・大学等の卒業後）、就業を希望している業界はどのようなものですか。
次の中から、最も希望に近いと思うものを1つ選択してください。

① 高校生

高校生の就業を希望している業界は、「医療」が11.3%で最も高く、次いで「IT関係、ソフトウェア」が9.9%、「教育、保育」が7.5%となっている。

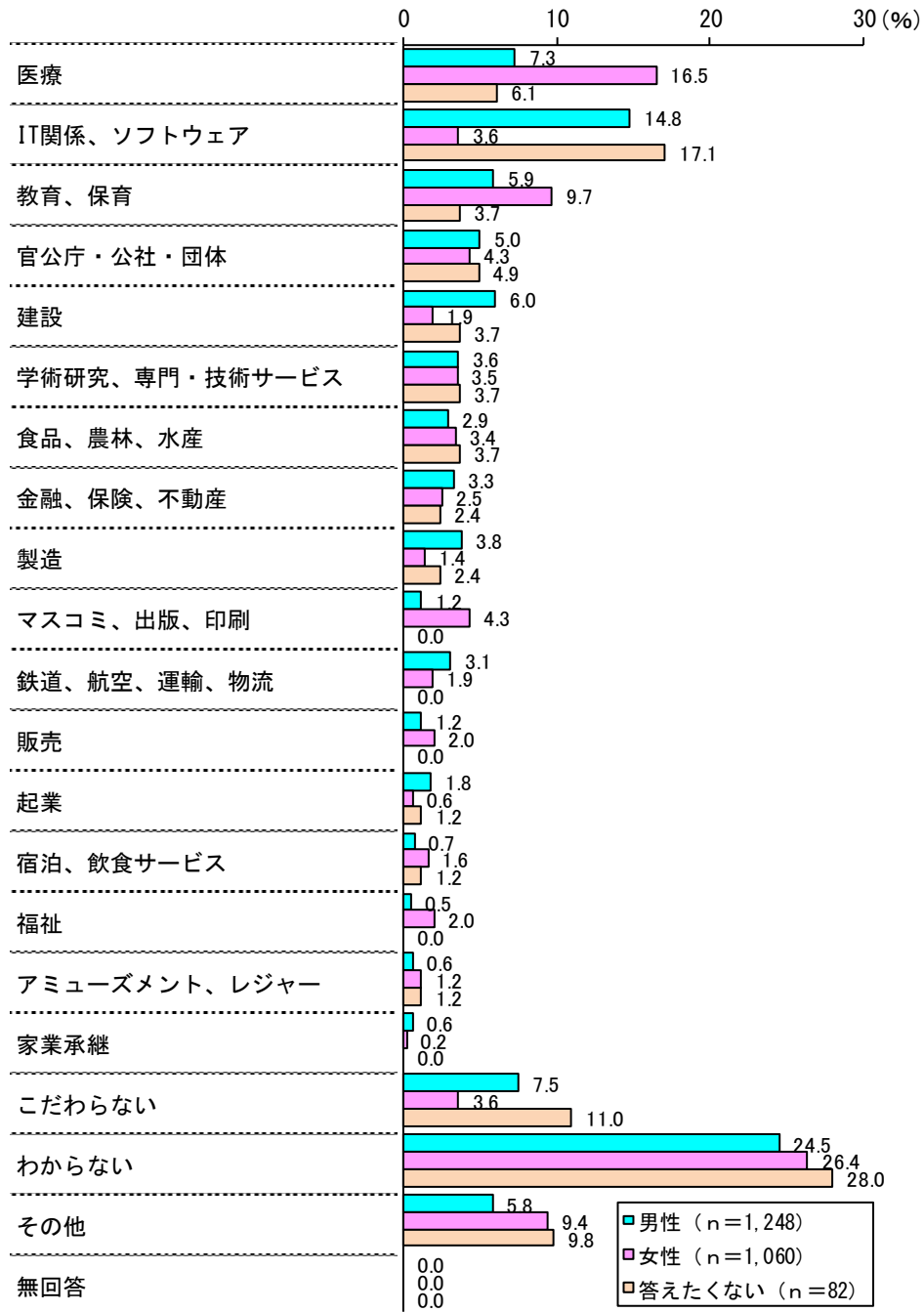
また、「こだわらない」は5.9%、「わからない」は25.5%となっている。

<図表 就業を希望している業界－高校生>



性別で見ると、「IT関係、ソフトウェア」では男性（14.8%）が女性（3.6%）より11.2ポイント高くなっている。一方、「医療」では女性（16.5%）が男性（7.3%）より9.2ポイント高くなっている。

<図表 就業を希望している業界—高校生（性別）>

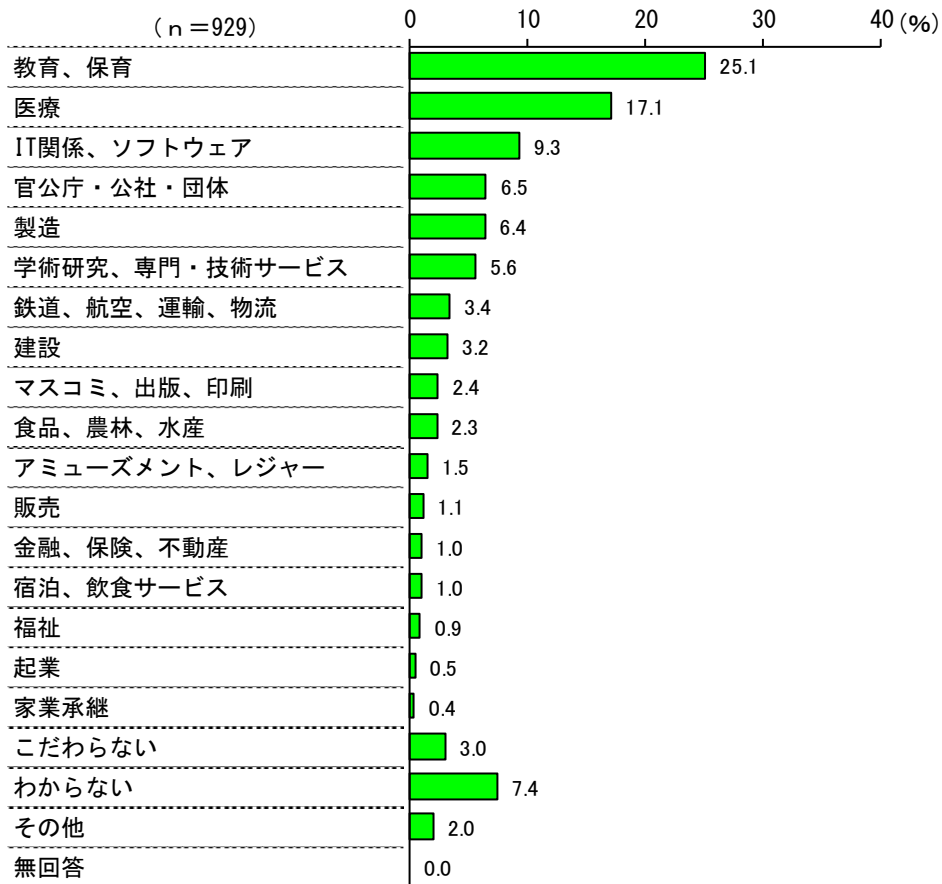


② 大学生・短期大学生

大学生・短期大学生の就業を希望している業界は、「教育、保育」が25.1%で最も高く、次いで「医療」が17.1%、「IT関係、ソフトウェア」が9.3%となっている。

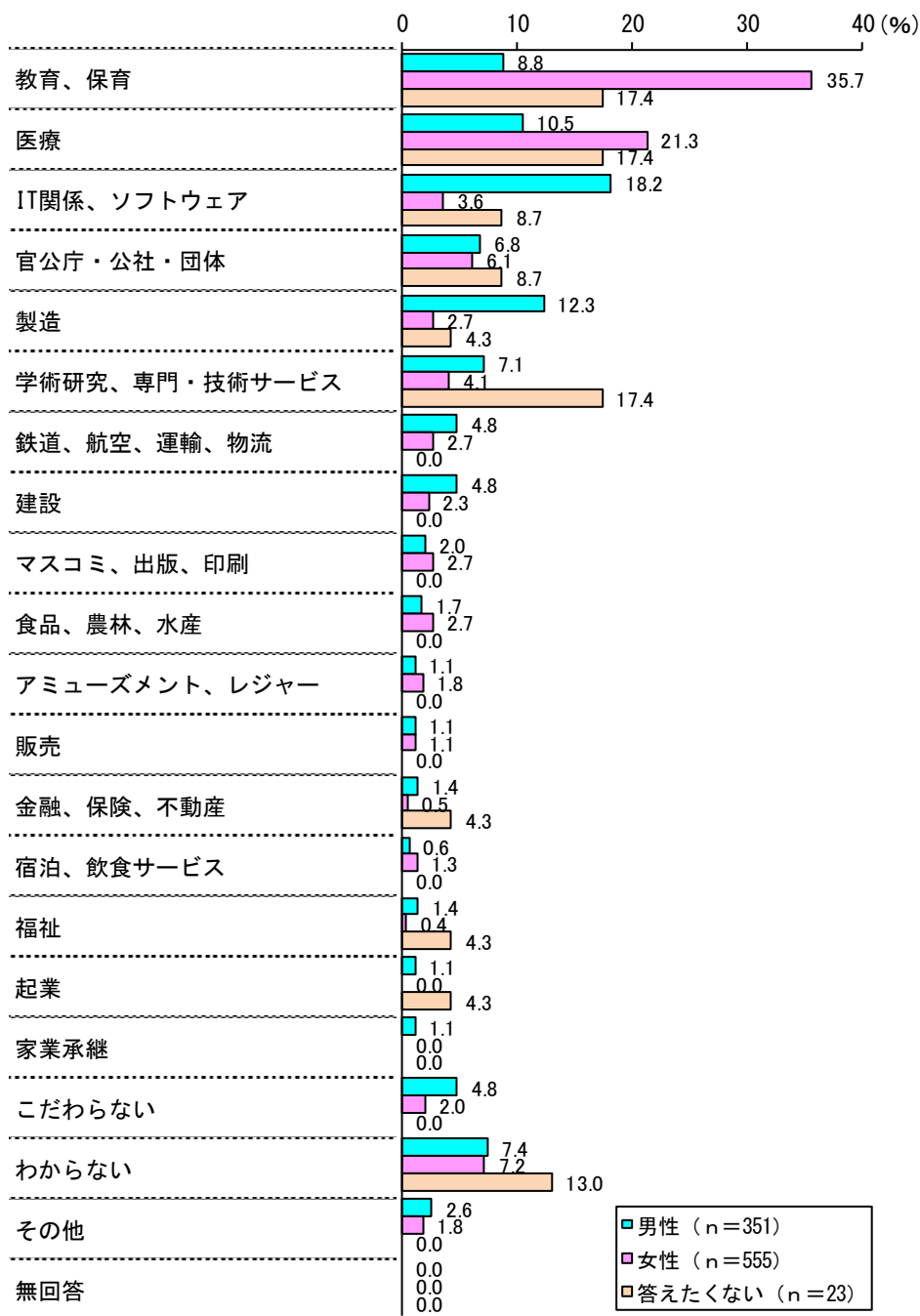
また、「こだわらない」は3.0%、「わからない」は7.4%となっている。

<図表 就業を希望している業界—大学生・短期大学生>



性別でみると、「教育、保育」では女性（35.7%）が男性（8.8%）より 26.9 ポイント、「医療」では女性（21.3%）が男性（10.5%）より 10.8 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「IT関係、ソフトウェア」では男性（18.2%）が女性（3.6%）より 14.6 ポイント、「製造」では男性（12.3%）が女性（2.7%）より 9.6 ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 就業を希望している業界—大学生・短期大学生（性別）>



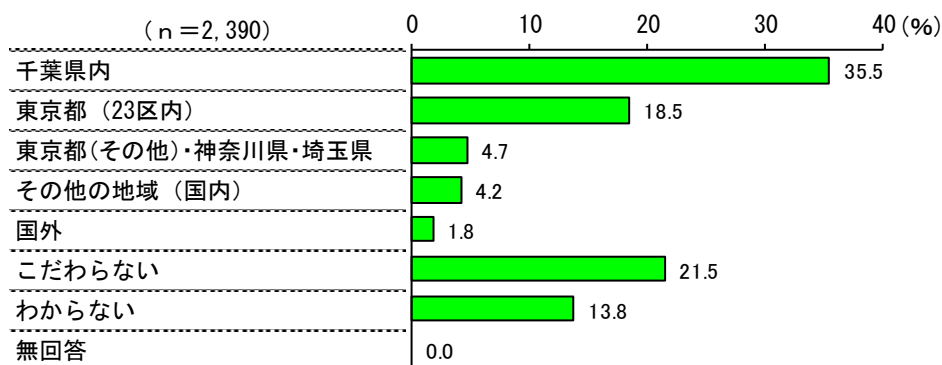
(2) 勤務する希望地

問 勤務する希望地はどこですか。

① 高校生

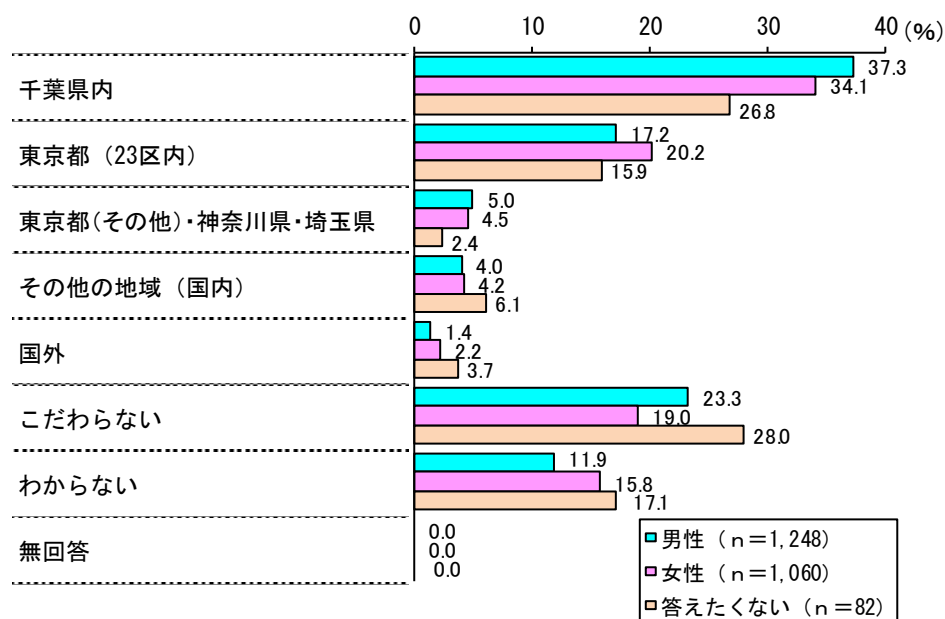
高校生の勤務する希望地は、「千葉県内」が 35.5%で最も高く、次いで「東京都（23区内）」が 18.5%となっている。また、「こだわらない」は 21.5%、「わからない」は 13.8%となっている。

<図表 勤務する希望地－高校生>



性別で見ると、「こだわらない」では男性（23.3%）が女性（19.0%）より 4.3 ポイント高くなっている。一方、「わからない」では女性（15.8%）が男性（11.9%）より 3.9 ポイント高くなっている。

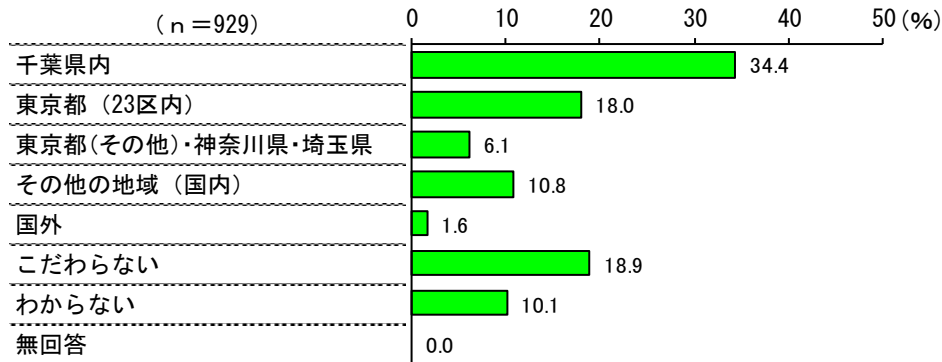
<図表 勤務する希望地－高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

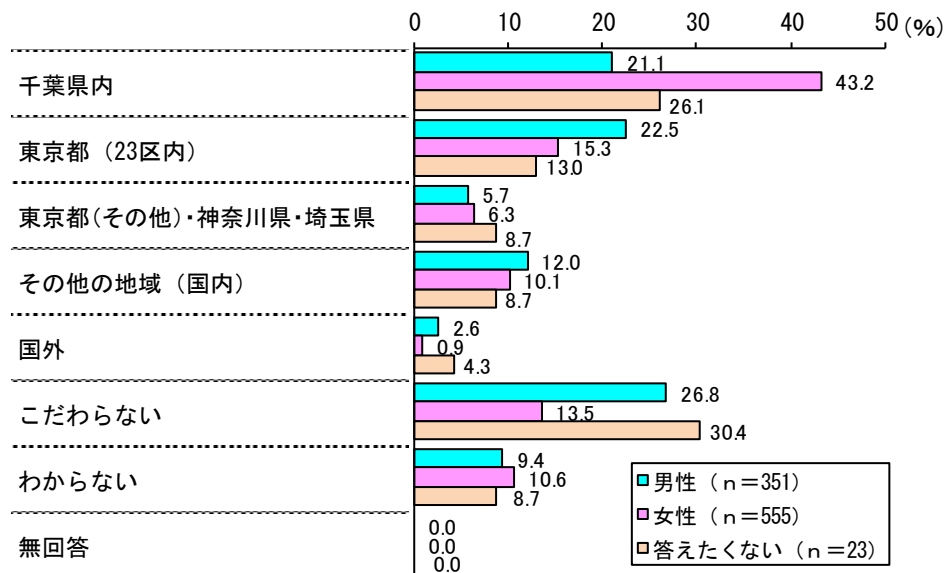
大学生・短期大学生の勤務する希望地は、「千葉県内」が34.4%で最も高く、次いで「東京都（23区内）」が18.0%となっている。また、「こだわらない」は18.9%、「わからない」は10.1%となっている。

<図表 勤務する希望地—大学生・短期大学生>



性別で見ると、「千葉県内」では女性（43.2%）が男性（21.1%）より22.1ポイント高くなっている。一方、「東京都（23区内）」では男性（22.5%）が女性（15.3%）より7.2ポイント、「こだわらない」では男性（26.8%）が女性（13.5%）より13.3ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 勤務する希望地—大学生・短期大学生（性別）>



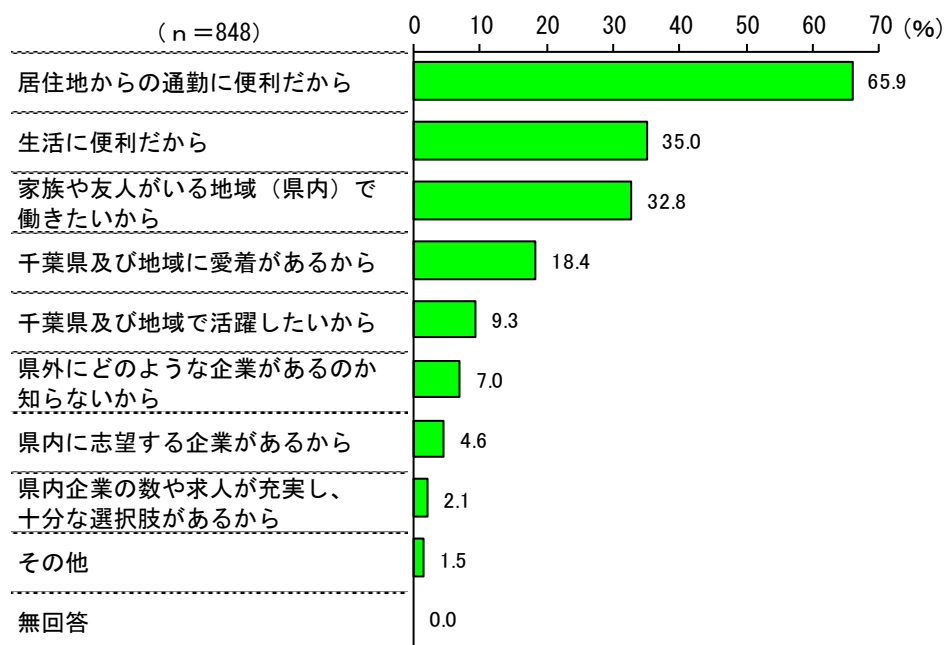
(3) 県内に勤務を希望する理由

問 勤務する希望地で、「千葉県内」を回答した方について、千葉県内に勤務を希望する理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

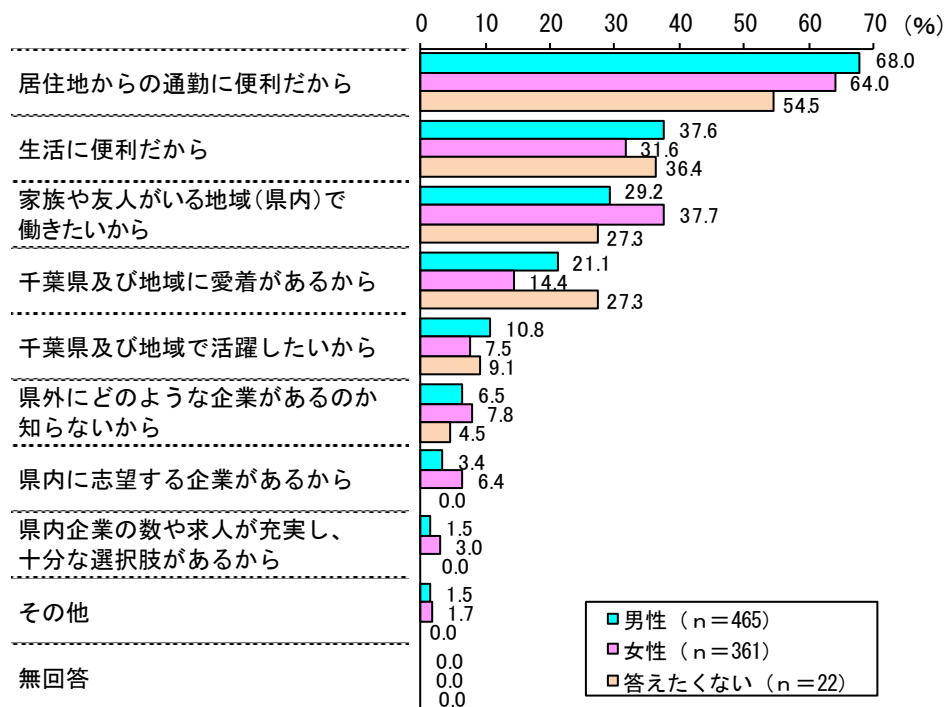
高校生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利だから」が65.9%で最も高く、次いで「生活に便利だから」が35.0%、「家族や友人がいる地域(県内)で働きたいから」が32.8%、「千葉県及び地域に愛着があるから」が18.4%となっている。

<図表 県内に勤務を希望する理由－高校生>



性別でみると、「千葉県及び地域に愛着があるから」では男性（21.1%）が女性（14.4%）より6.7ポイント、「生活に便利だから」では男性（37.6%）が女性（31.6%）より6.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「家族や友人がいる地域（県内）で働きたいから」では女性（37.7%）が男性（29.2%）より8.5ポイント高くなっている。

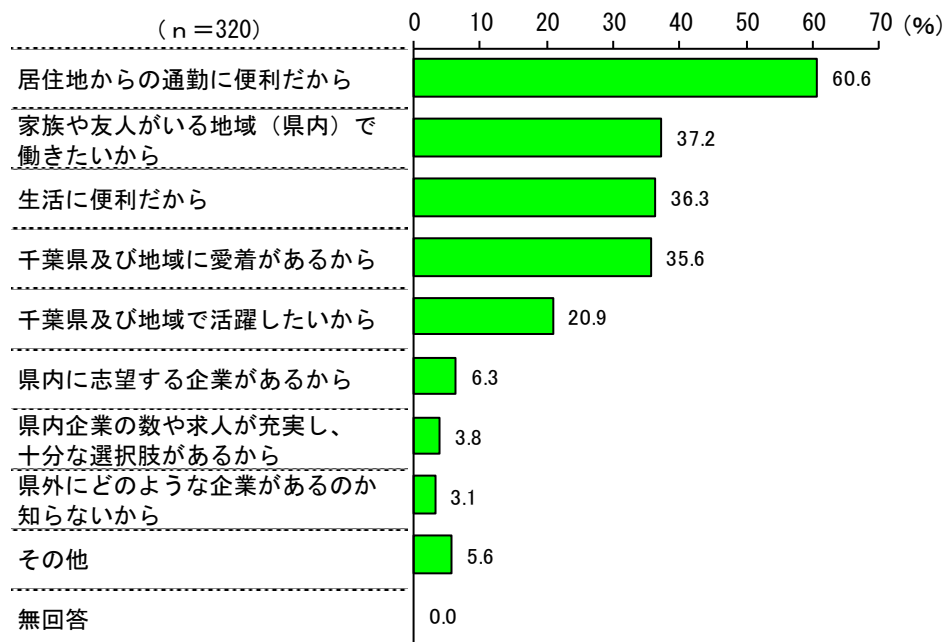
<図表 県内に勤務を希望する理由—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

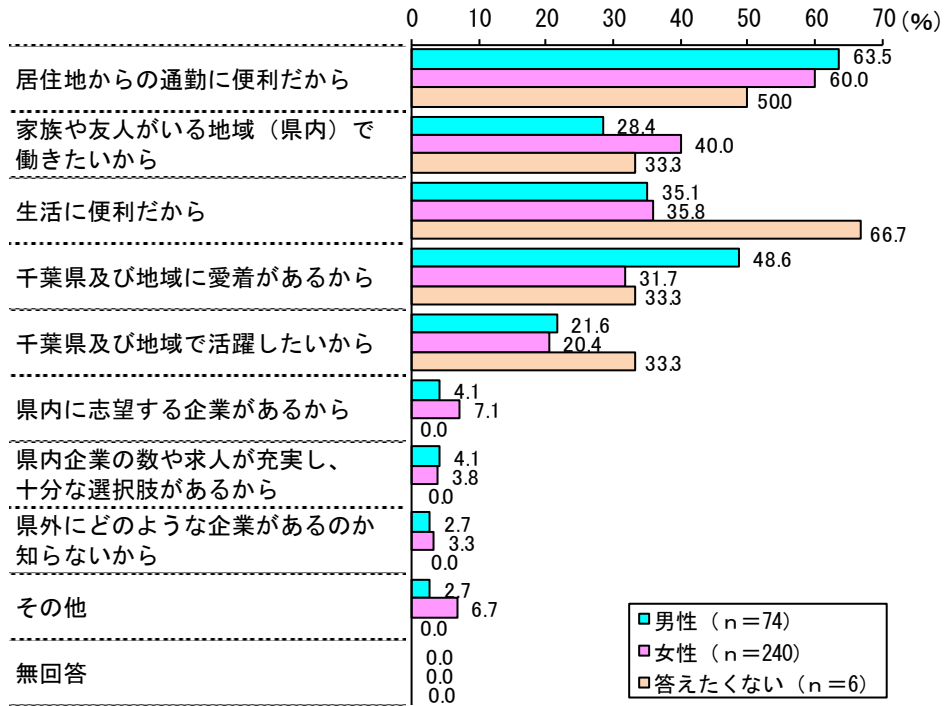
大学生・短期大学生の県内に勤務を希望する理由は、「居住地からの通勤に便利だから」が60.6%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域（県内）で働きたいから」が37.2%、「生活に便利だから」が36.3%、「千葉県及び地域に愛着があるから」が35.6%となっている。

＜図表 県内に勤務を希望する理由—大学生・短期大学生＞



性別でみると、「千葉県及び地域に愛着があるから」では男性（48.6%）が女性（31.7%）より16.9ポイント高くなっている。一方、「家族や友人がいる地域（県内）で働きたいから」では女性（40.0%）が男性（28.4%）より11.6ポイント高くなっている。

<図表 県内に勤務を希望する理由—大学生・短期大学生（性別）>



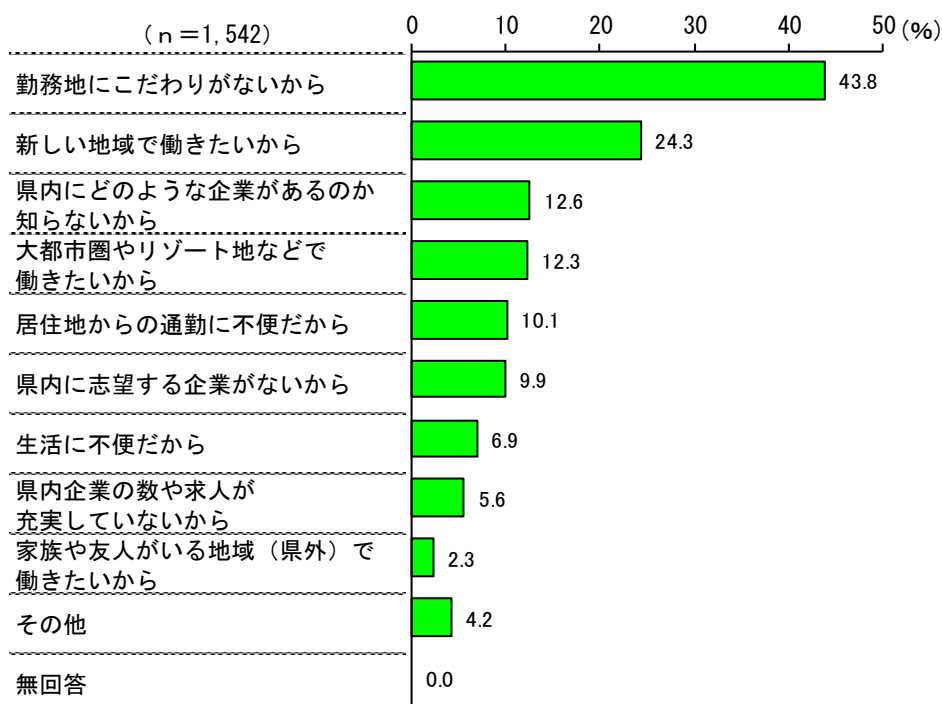
(4) 県内での勤務を希望しない理由

問 勤務する希望地で、「千葉県内」以外を回答した方について、千葉県内での勤務を希望しない理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

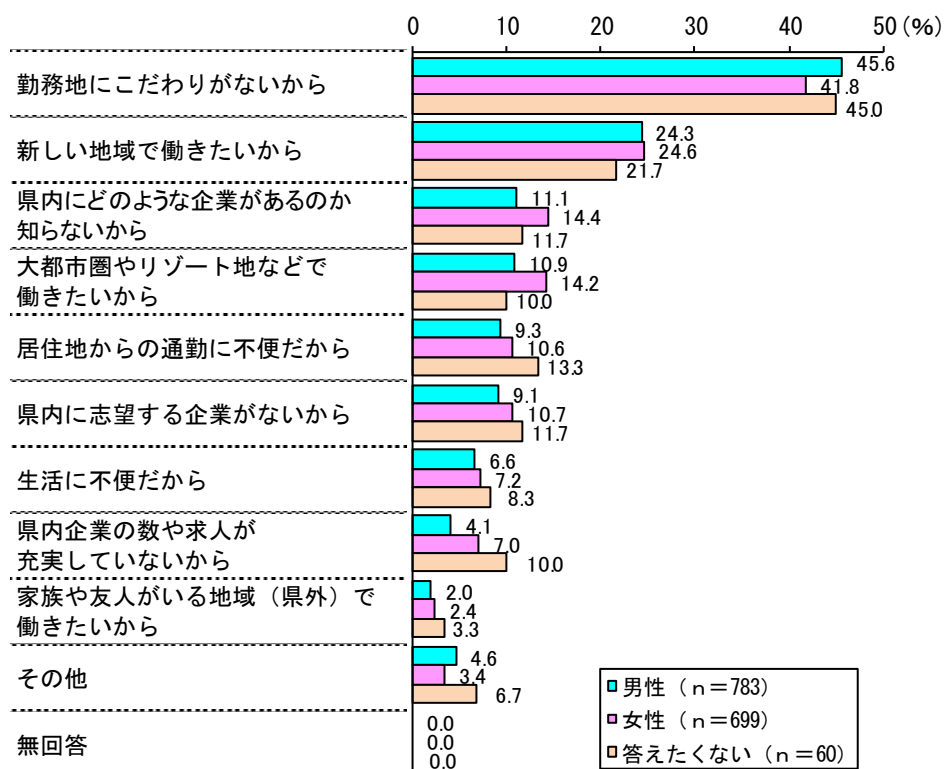
高校生の県内での勤務を希望しない理由は、「勤務地にこだわりのないから」が43.8%で最も高く、次いで「新しい地域で働きたいから」が24.3%、「県内にどのような企業があるのか知らないから」が12.6%、「大都市圏やリゾート地などで働きたいから」が12.3%となっている。

<図表 県内での勤務を希望しない理由－高校生>



性別でみると、「勤務地にこだわりがないから」では男性（45.6%）が女性（41.8%）より 3.8 ポイント高くなっている。一方、「県内にどのような企業があるのか知らないから」では女性（14.4%）が男性（11.1%）より 3.3 ポイント、「大都市圏やリゾート地などで働きたいから」では女性（14.2%）が男性（10.9%）より 3.3 ポイント、それぞれ高くなっている。

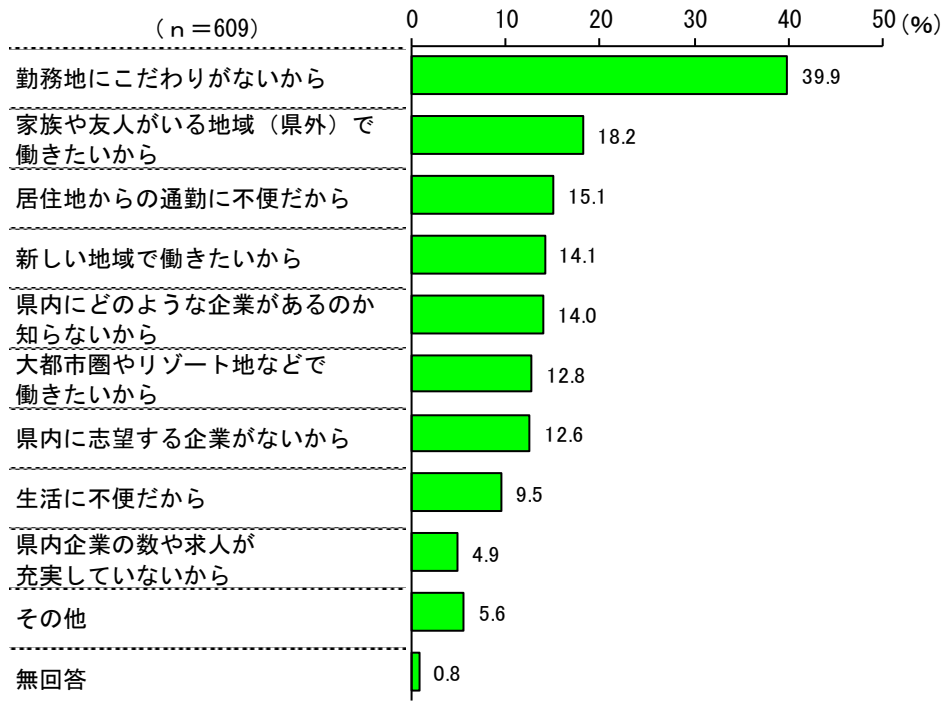
＜図表 県内での勤務を希望しない理由－高校生（性別）＞



② 大学生・短期大学生

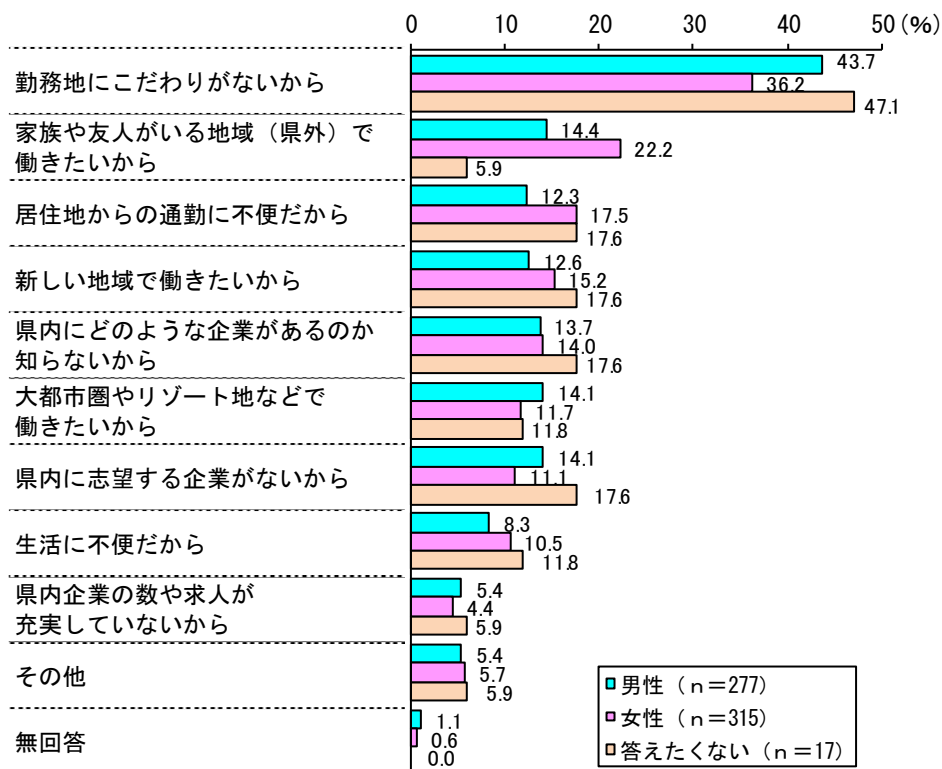
大学生・短期大学生の県内での勤務を希望しない理由は、「勤務地にこだわりがないから」が39.9%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域（県外）で働きたいから」が18.2%、「居住地からの通勤に不便だから」が15.1%、「新しい地域で働きたいから」が14.1%、「県内にどのような企業があるのか知らないから」が14.0%となっている。

＜図表 県内での勤務を希望しない理由—大学生・短期大学生＞



性別で見ると、「勤務地にこだわりがないから」では男性（43.7%）が女性（36.2%）より 7.5 ポイント高くなっている。一方、「家族や友人がいる地域（県外）で働きたいから」では女性（22.2%）が男性（14.4%）より 7.8 ポイント、「居住地からの通勤に不便だから」では女性（17.5%）が男性（12.3%）より 5.2 ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 県内での勤務を希望しない理由—大学生・短期大学生（性別）>



3. 将来の居住地の希望について

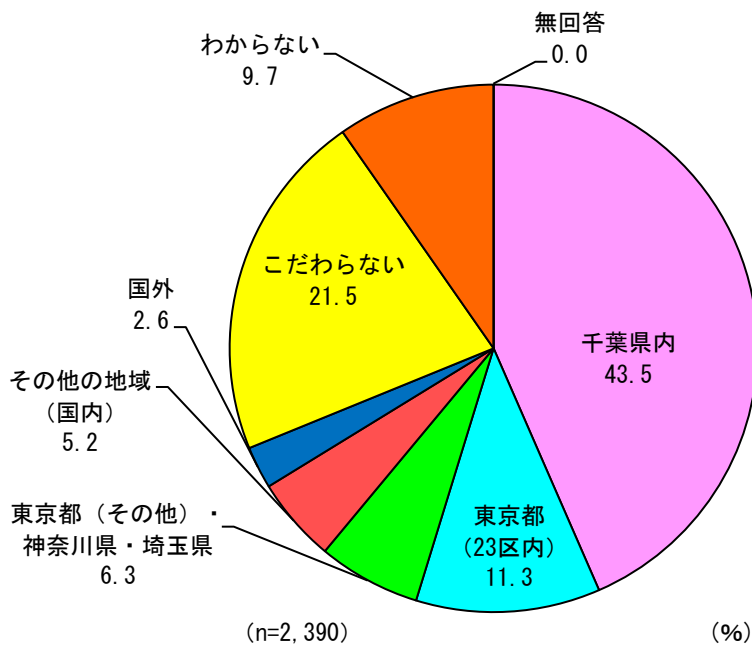
(1) 就業後の居住地の希望

問 あなたは、就業後、どこに住みたいですか。

① 高校生

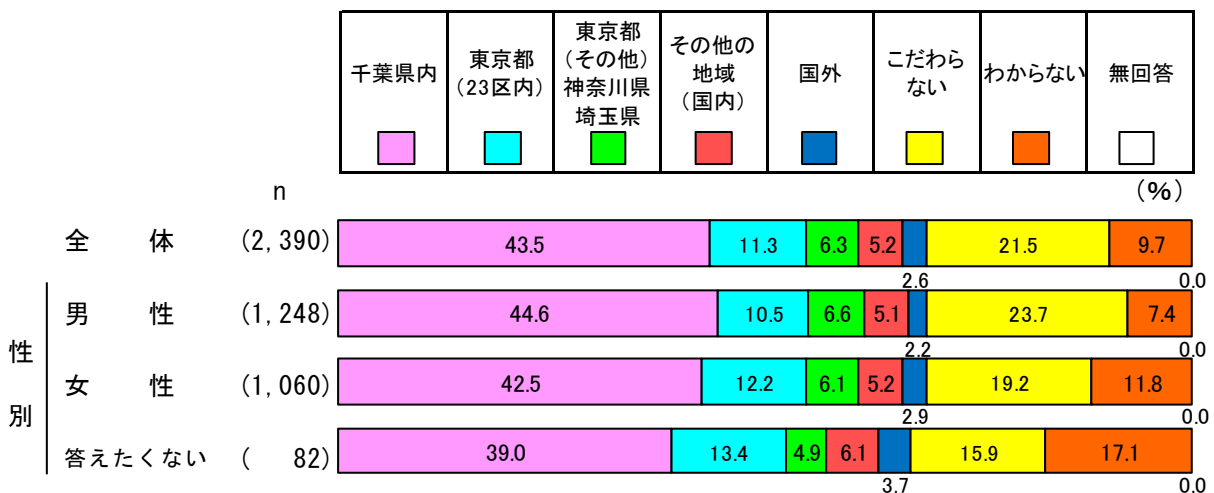
高校生の就業後の居住地の希望は、「千葉県内」が43.5%で最も高くなっている。次いで「東京都（23区内）」が11.3%となっている。また、「こだわらない」は21.5%、「わからない」は9.7%となっている。

<図表 就業後の居住地の希望－高校生>



性別で見ると、「こだわらない」では男性（23.7%）が女性（19.2%）より4.5ポイント高くなっている。一方、「わからない」では女性（11.8%）が男性（7.4%）より4.4ポイント高くなっている。

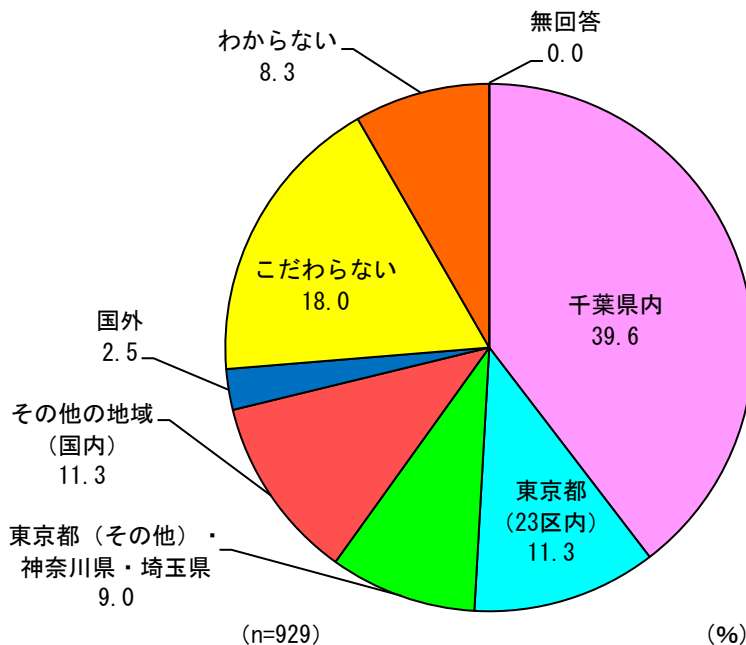
<図表 就業後の居住地の希望－高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

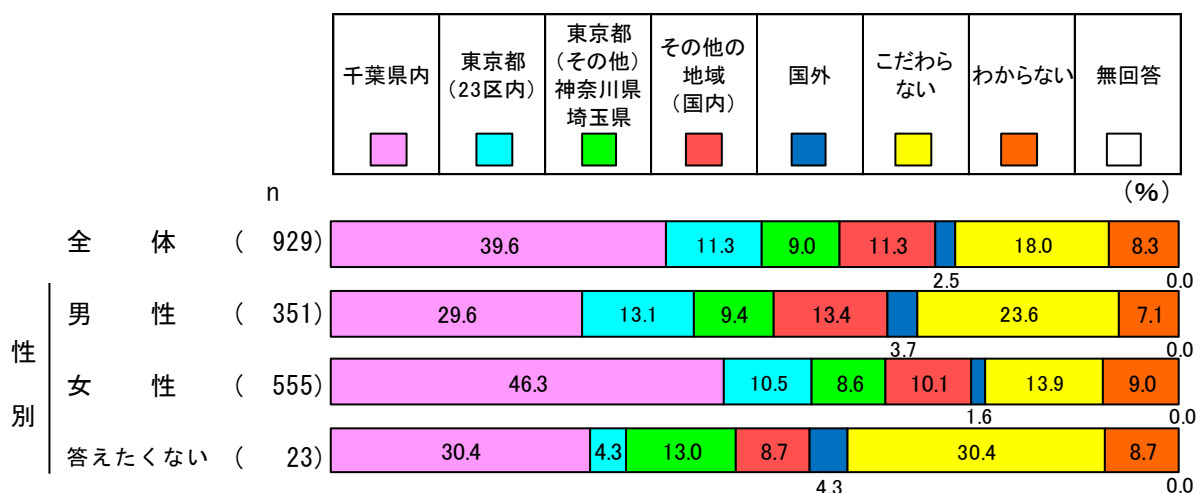
大学生・短期大学生の就業後の居住地の希望は、「千葉県内」が39.6%で最も高くなっている。次いで「東京都（23区内）」と「その他の地域（国内）」が11.3%となっている。また、「こだわらない」は18.0%、「わからない」は8.3%となっている。

<図表 就業後の居住地の希望—大学生・短期大学生>



性別でみると、「千葉県内」では女性（46.3%）が男性（29.6%）より16.7ポイント高くなっている。一方、「こだわらない」では男性（23.6%）が女性（13.9%）より9.7ポイント高くなっている。

<図表 就業後の居住地の希望—大学生・短期大学生（性別）>



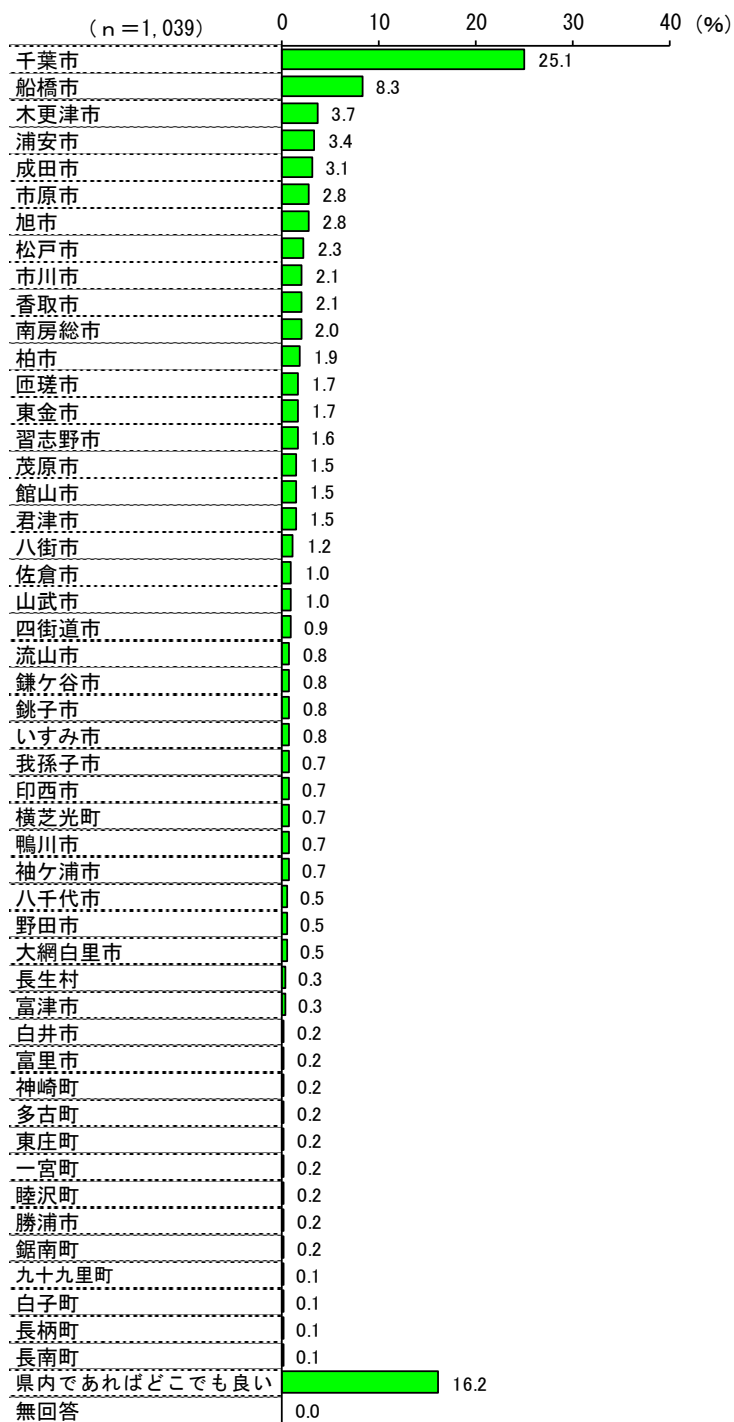
(2) 県内で希望する居住地

問 就業後の居住地の希望で、「千葉県に住みたい」と回答した方について、千葉県内で居住を希望する市町村はどこですか。

① 高校生

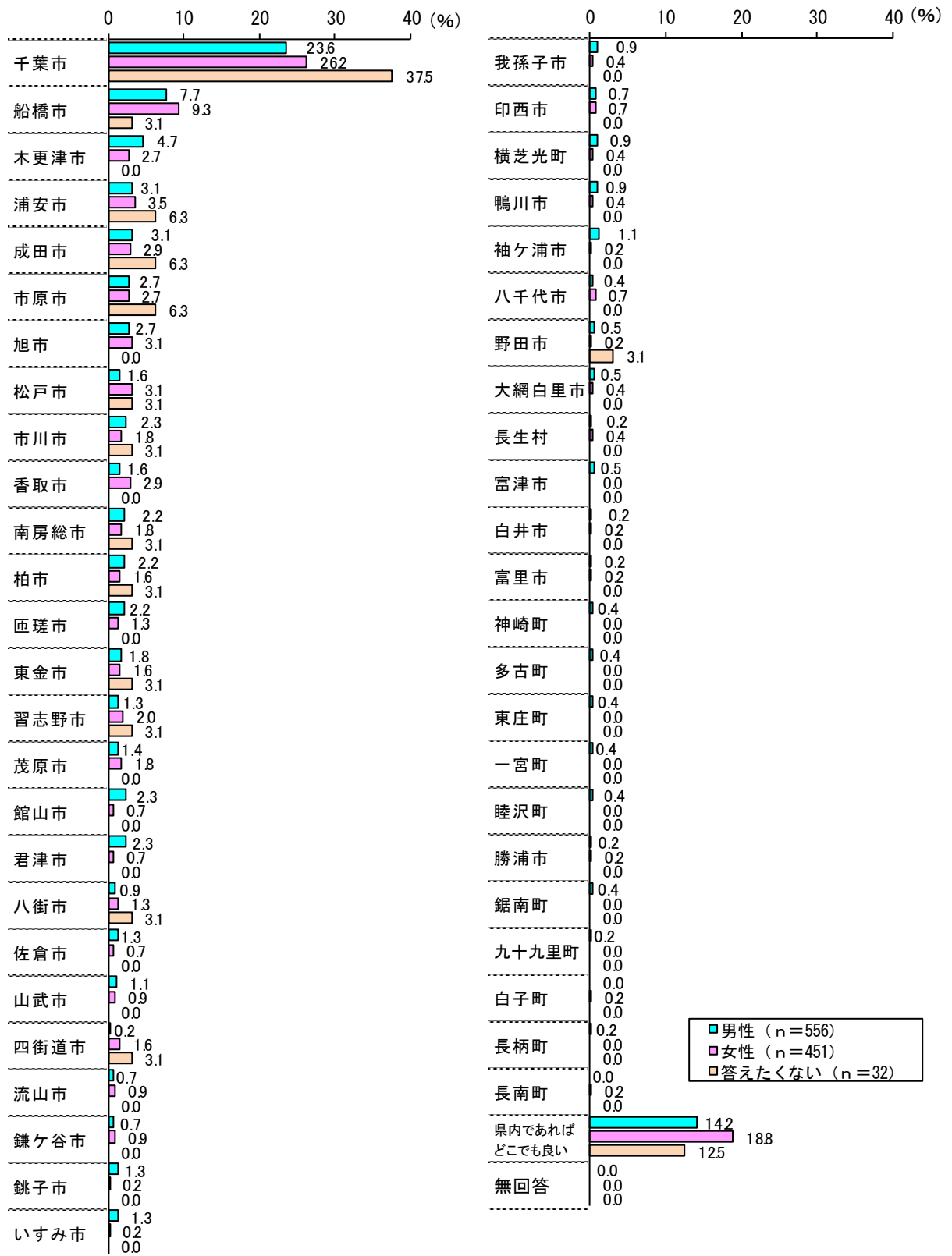
高校生の県内で居住を希望する市町村は、「千葉市」が25.1%で最も高く、次いで「船橋市」が8.3%、「木更津市」が3.7%となっている。また、「県内であればどこでも良い」は16.2%となっている。

<図表 県内で希望する居住地－高校生>



性別でみると、「県内であればどこでも良い」では女性（18.8%）が男性（14.2%）より 4.6 ポイント高くなっている。

<図表 県内で希望する居住地—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

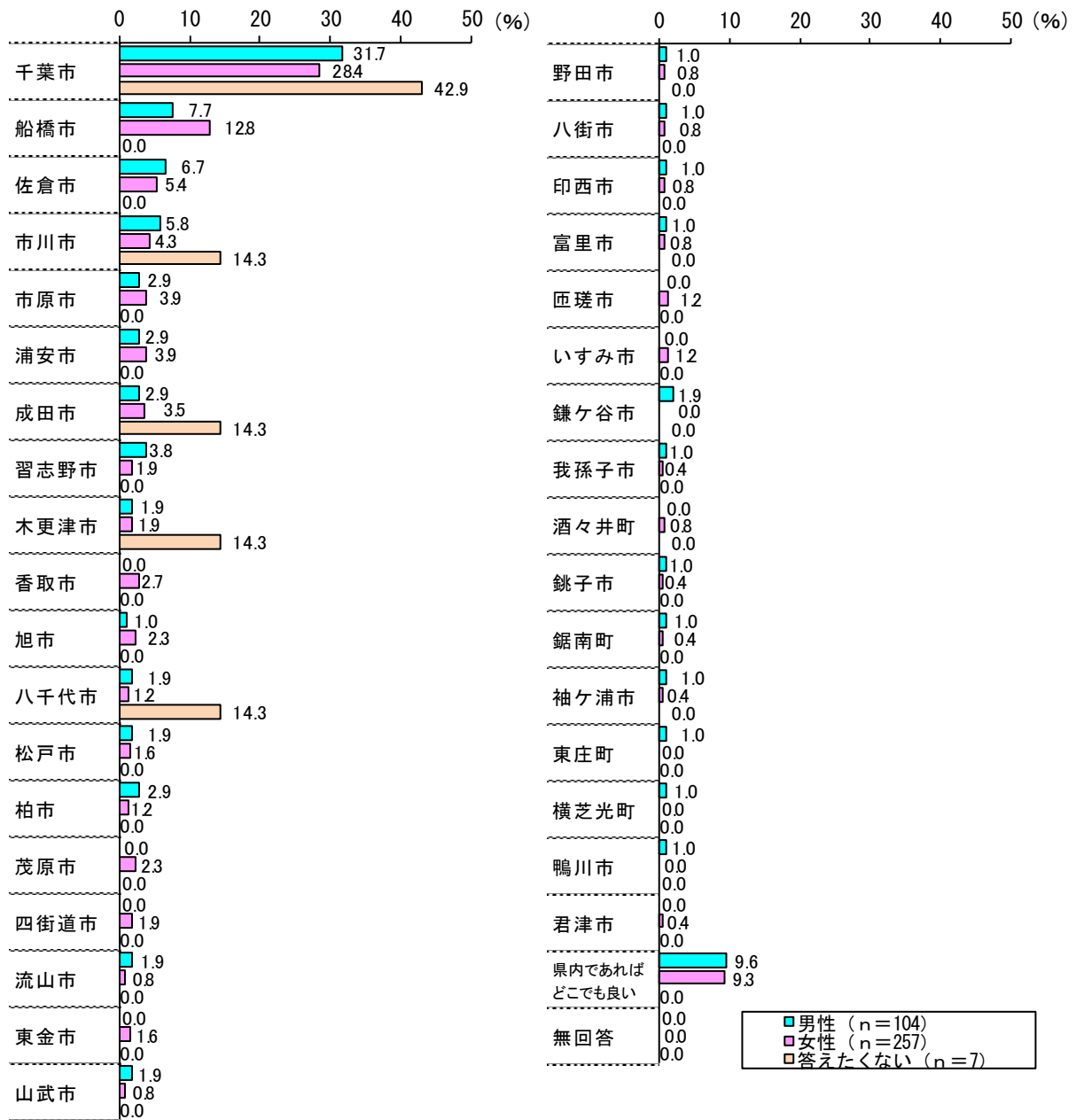
大学生・短期大学生の県内で居住を希望する市町村は、「千葉市」が29.6%で最も高く、次いで「船橋市」が11.1%、「佐倉市」が5.7%、「市川市」が4.9%となっている。また、「県内であればどこでも良い」は9.2%となっている。

<図表 県内で希望する居住地—大学生・短期大学生>



性別でみると、「船橋市」では女性（12.8%）が男性（7.7%）より5.1ポイント高くなっている。一方、「千葉市」では男性（31.7%）が女性（28.4%）より3.3ポイント高くなっている。

<図表 県内で希望する居住地—大学生・短期大学生（性別）>



(3) 県内の地域を居住地に選ぶ理由

問 県内で希望する居住地について、その地域を選ぶ理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

高校生の県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が47.8%で最も高く、次いで「家族や友人がいる地域（県内）に住みたいから」が33.7%、「交通が便利だから」が29.4%、「都心に近いから」が25.9%となっている。

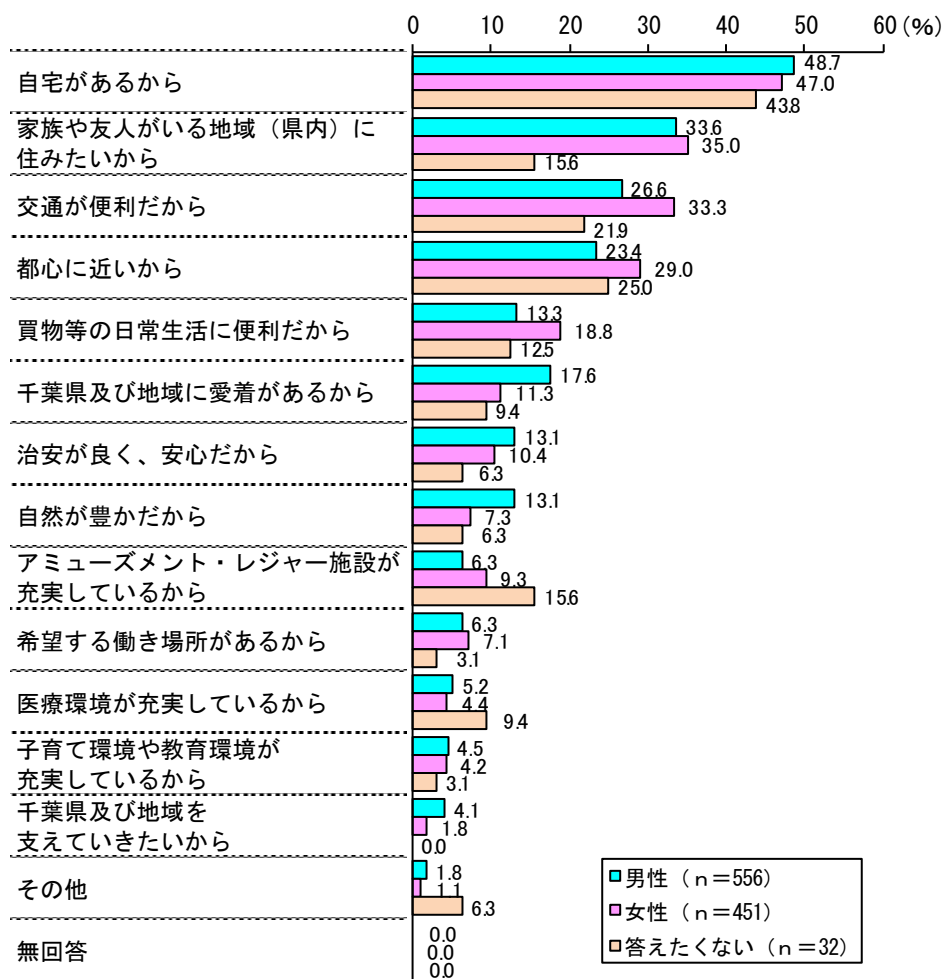
<図表 県内の地域を居住地に選ぶ理由－高校生>



性別でみると、「交通が便利だから」では女性（33.3%）が男性（26.6%）より6.7ポイント、「都心に近いから」では女性（29.0%）が男性（23.4%）より5.6ポイント、「買物等の日常生活に便利だから」では女性（18.8%）が男性（13.3%）より5.5ポイント、それぞれ高くなっている。

一方、「千葉県及び地域に愛着があるから」では男性（17.6%）が女性（11.3%）より6.3ポイント、「自然が豊かだから」では男性（13.1%）が女性（7.3%）より5.8ポイント、それぞれ高くなっている。

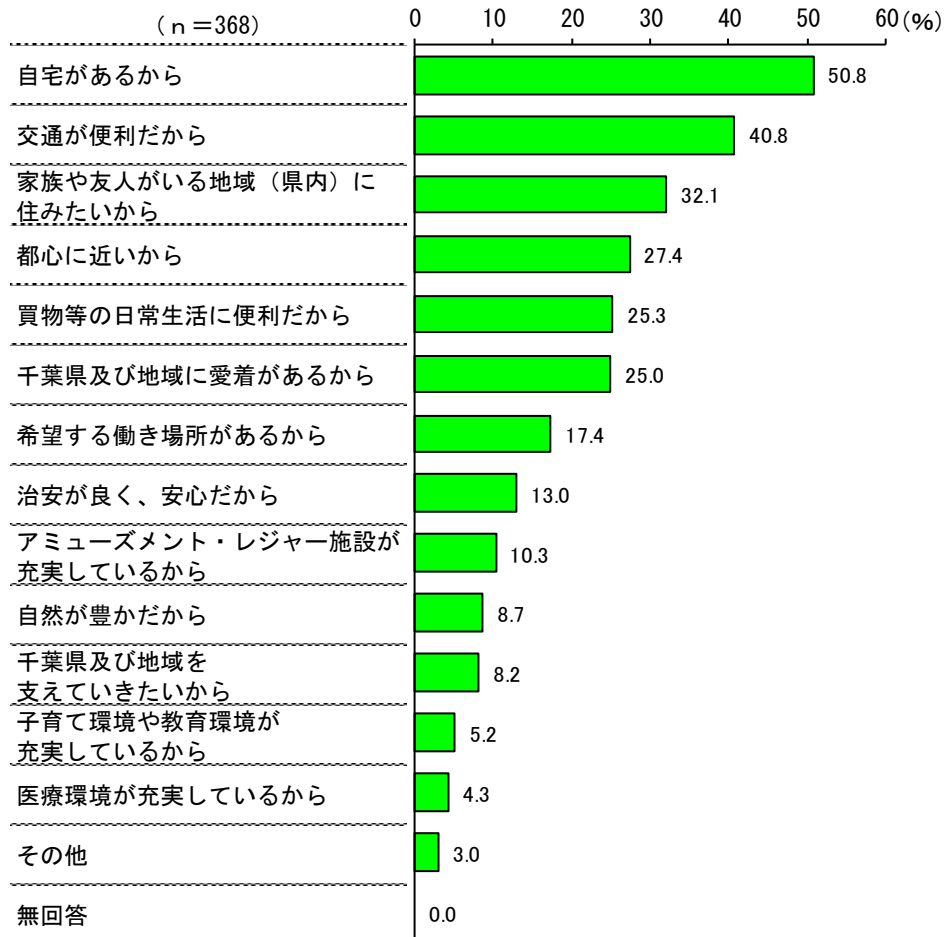
<図表 県内の地域を居住地に選ぶ理由—高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

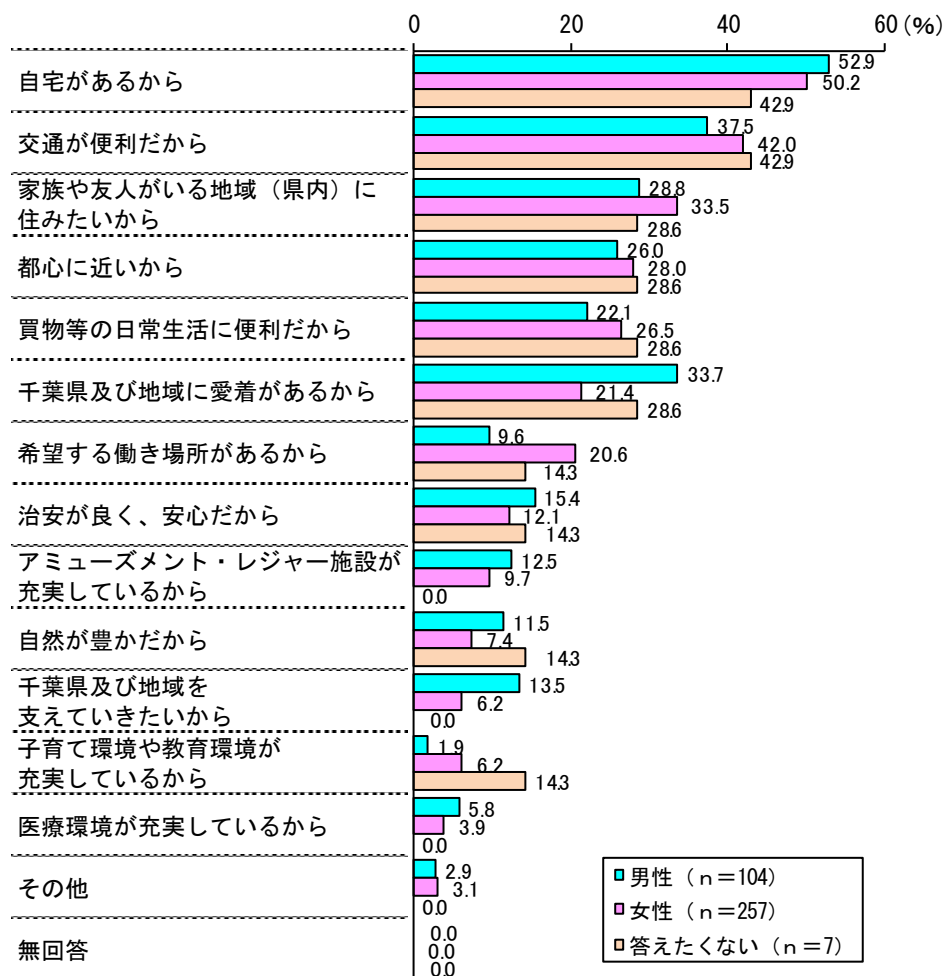
大学生・短期大学生の県内の地域を居住地に選ぶ理由は、「自宅があるから」が50.8%で最も高く、次いで「交通が便利だから」が40.8%、「家族や友人がいる地域（県内）に住みたいから」が32.1%、「都心に近いから」が27.4%となっている。

＜図表 県内の地域を居住地に選ぶ理由－大学生・短期大学生＞



性別でみると、「千葉県及び地域に愛着があるから」では男性（33.7%）が女性（21.4%）より12.3ポイント、「千葉県及び地域を支えていきたいから」では男性（13.5%）が女性（6.2%）より7.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「希望する働き場所があるから」では女性（20.6%）が男性（9.6%）より11.0ポイント高くなっている。

<図表 県内の地域を居住地に選ぶ理由—大学生・短期大学生（性別）>



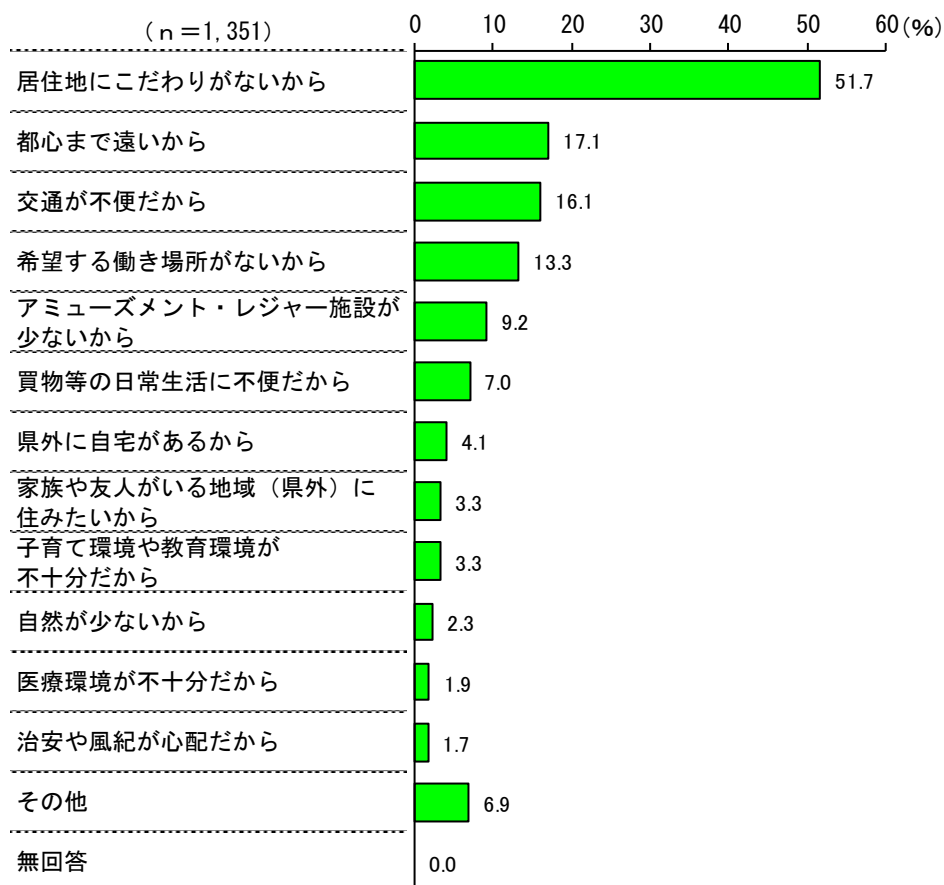
(4) 県内を居住地に選ばない理由

問 就業後の居住地の希望で、「千葉県内」以外と回答した方について、就業後の居住地に千葉県を選ばない理由は何ですか。(複数可)

① 高校生

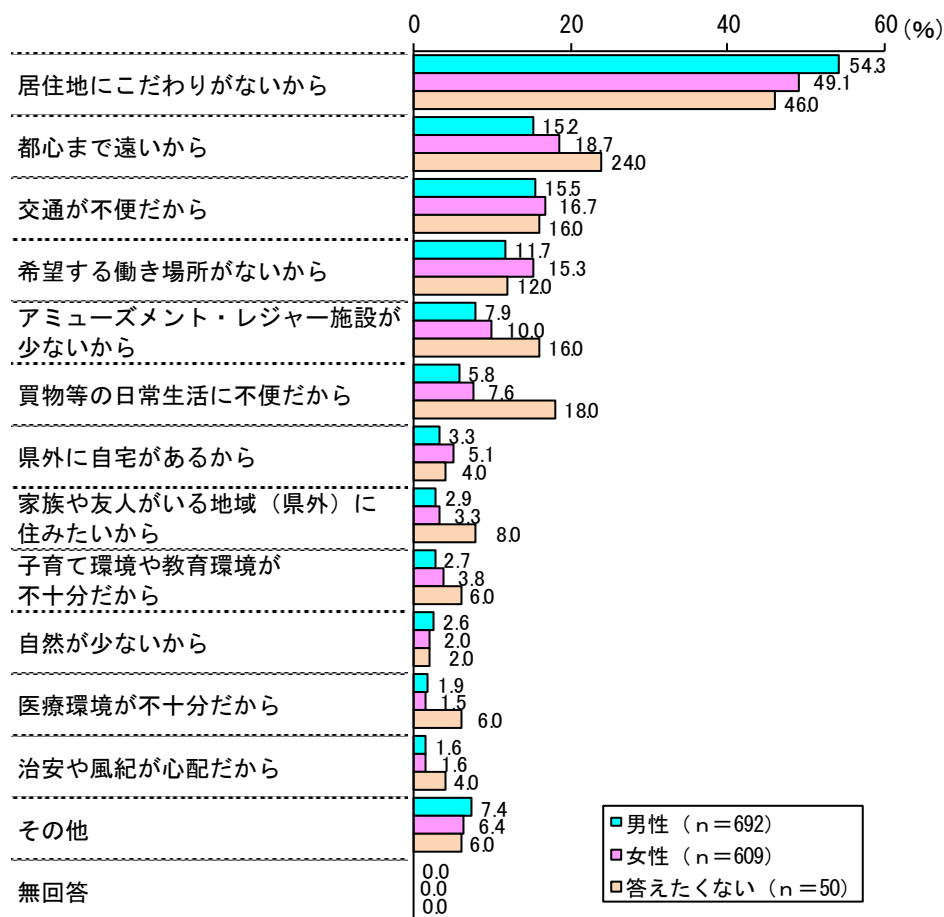
高校生の県内を居住地に選ばない理由は、「居住地にこだわりのないから」が51.7%で最も高く、次いで「都心まで遠いから」が17.1%、「交通が不便だから」が16.1%となっている。

<図表 県内を居住地に選ばない理由－高校生>



性別で見ると、「居住地にこだわりがないから」では男性（54.3%）が女性（49.1%）より 5.2 ポイント高くなっている。一方、「希望する働き場所がないから」では女性（15.3%）が男性（11.7%）より 3.6 ポイント、「都心まで遠いから」では女性（18.7%）が男性（15.2%）より 3.5 ポイント、それぞれ高くなっている。

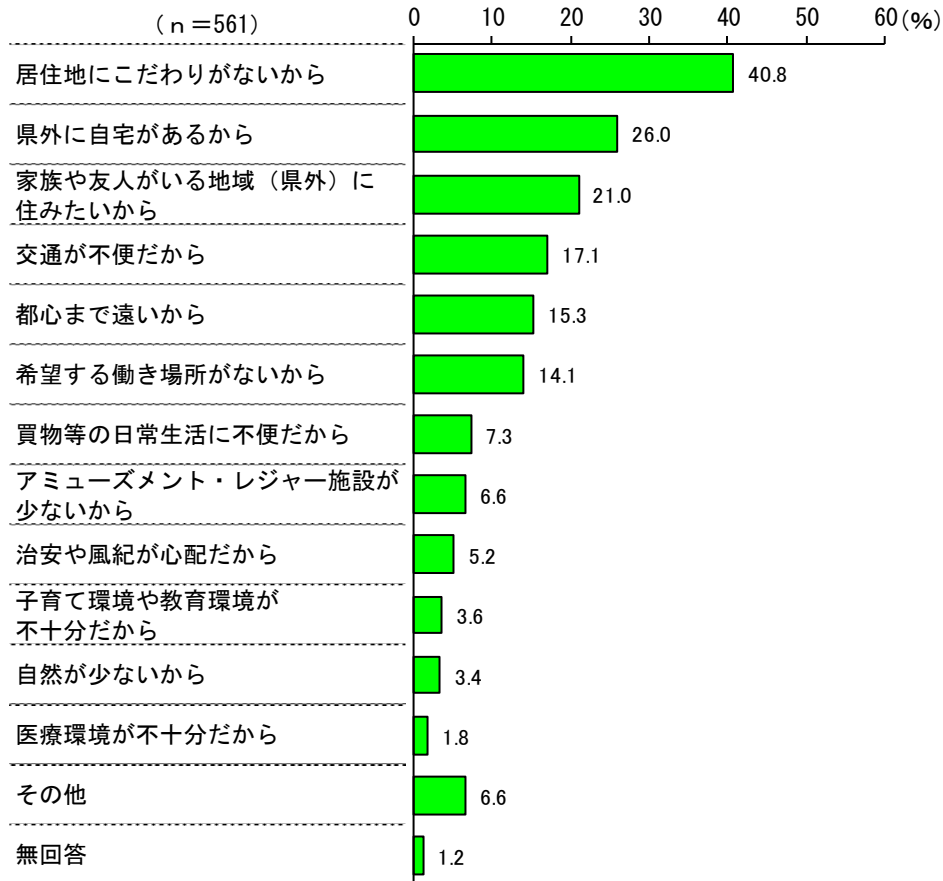
＜図表 県内を居住地に選ばない理由－高校生（性別）＞



② 大学生・短期大学生

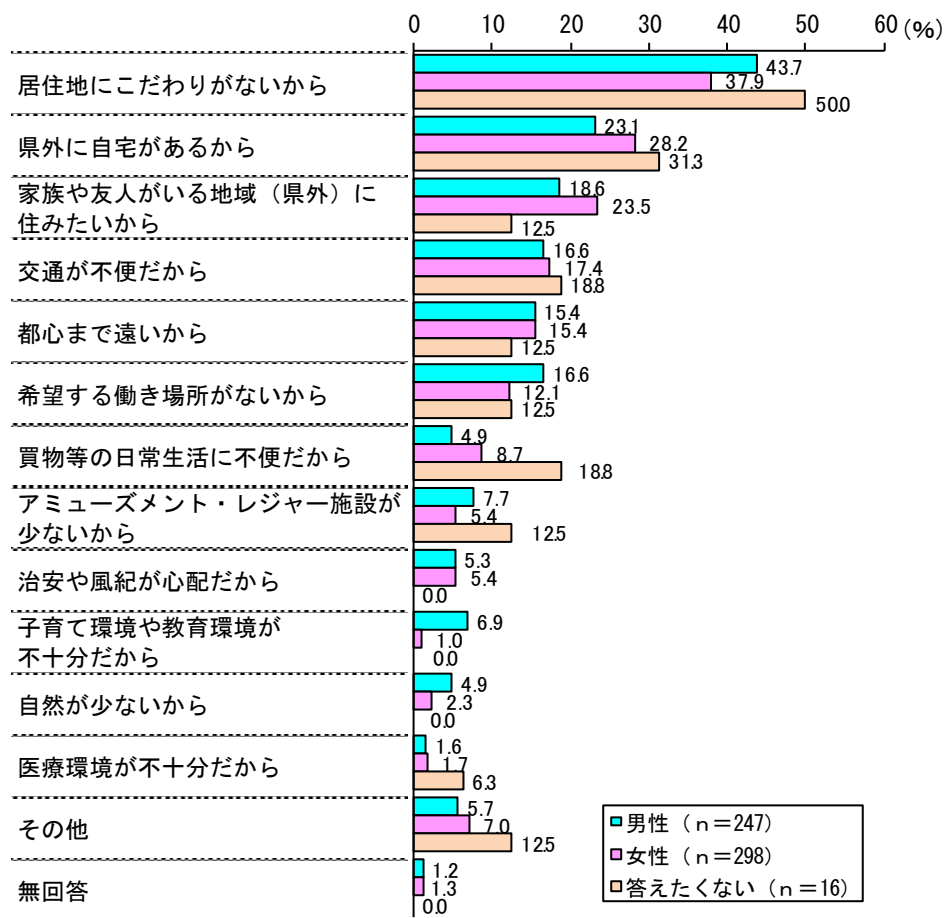
大学生・短期大学生の県内を居住地に選ばない理由は、「居住地にこだわりがないから」が40.8%で最も高く、次いで「県外に自宅があるから」が26.0%、「家族や友人がいる地域（県外）に住みたいから」が21.0%、「交通が不便だから」が17.1%となっている。

＜図表 県内を居住地に選ばない理由－大学生・短期大学生＞



性別でみると、「子育て環境や教育環境が不十分だから」では男性（6.9%）が女性（1.0%）より 5.9 ポイント、「居住地にこだわりがないから」では男性（43.7%）が女性（37.9%）より 5.8 ト、「希望する働き場所がないから」では男性（16.6%）が女性（12.1%）より 4.5 ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「県外に自宅があるから」では女性（28.2%）が男性（23.1%）より 5.1 ポイント、「家族や友人がいる地域（県外）に住みたいから」では女性（23.5%）が男性（18.6%）より 4.9 ポイント、「買物等の日常生活に不便だから」では女性（8.7%）が男性（4.9%）より 3.8 ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 県内を居住地に選ばない理由—大学生・短期大学生（性別）>

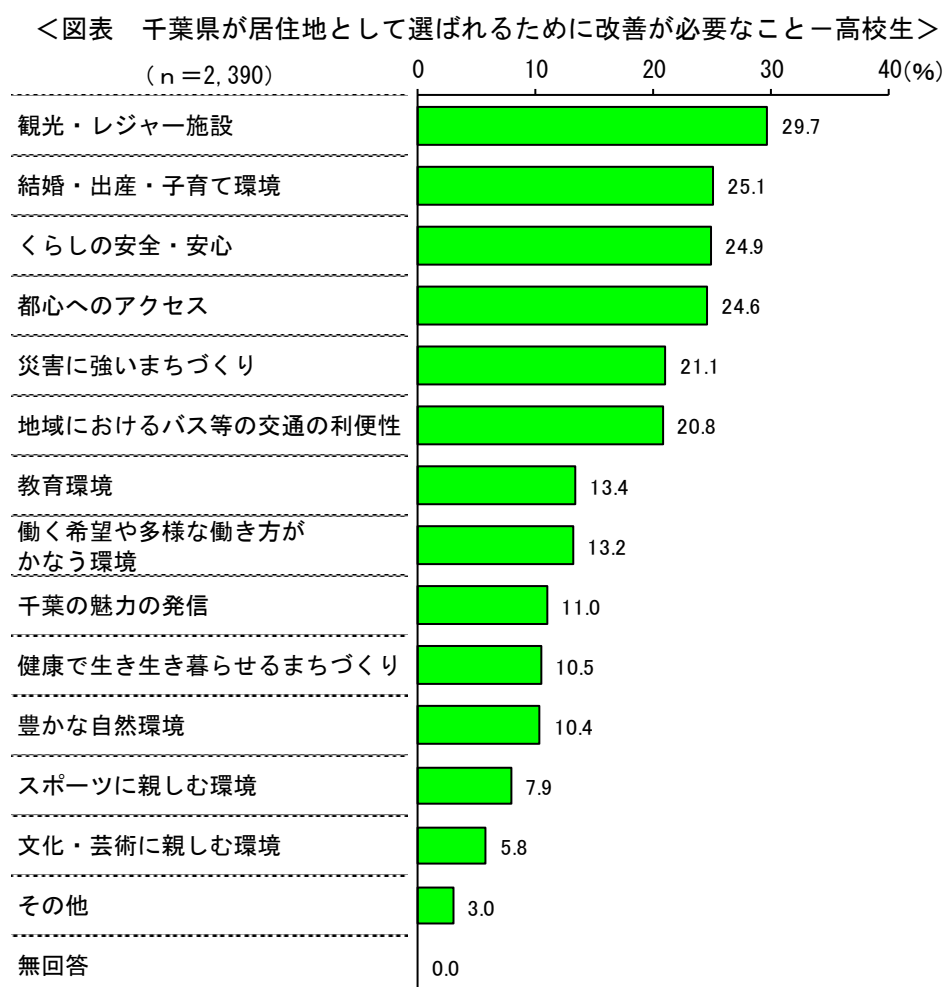


(5) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

問 千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要と思う点は、何だと思えますか。
(3つまで)

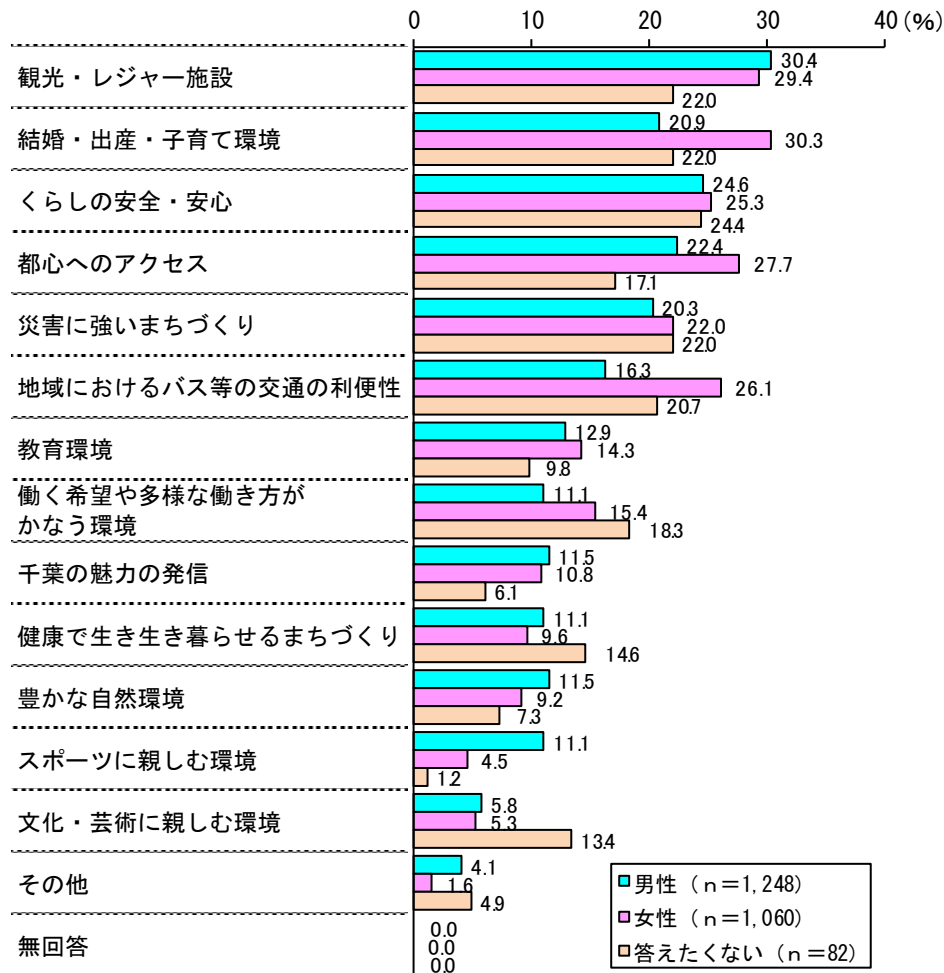
① 高校生

高校生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「観光・レジャー施設」が29.7%で最も高く、次いで「結婚・出産・子育て環境」が25.1%、「くらしの安全・安心」が24.9%、「都心へのアクセス」が24.6%、「災害に強いまちづくり」が21.1%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が20.8%となっている。



性別でみると、「地域におけるバス等の交通の利便性」では女性（26.1%）が男性（16.3%）より9.8ポイント、「結婚・出産・子育て環境」では女性（30.3%）が男性（20.9%）より9.4ポイント、「都心へのアクセス」では女性（27.7%）が男性（22.4%）より5.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「スポーツに親しむ環境」では男性（11.1%）が女性（4.5%）より6.6ポイント高くなっている。

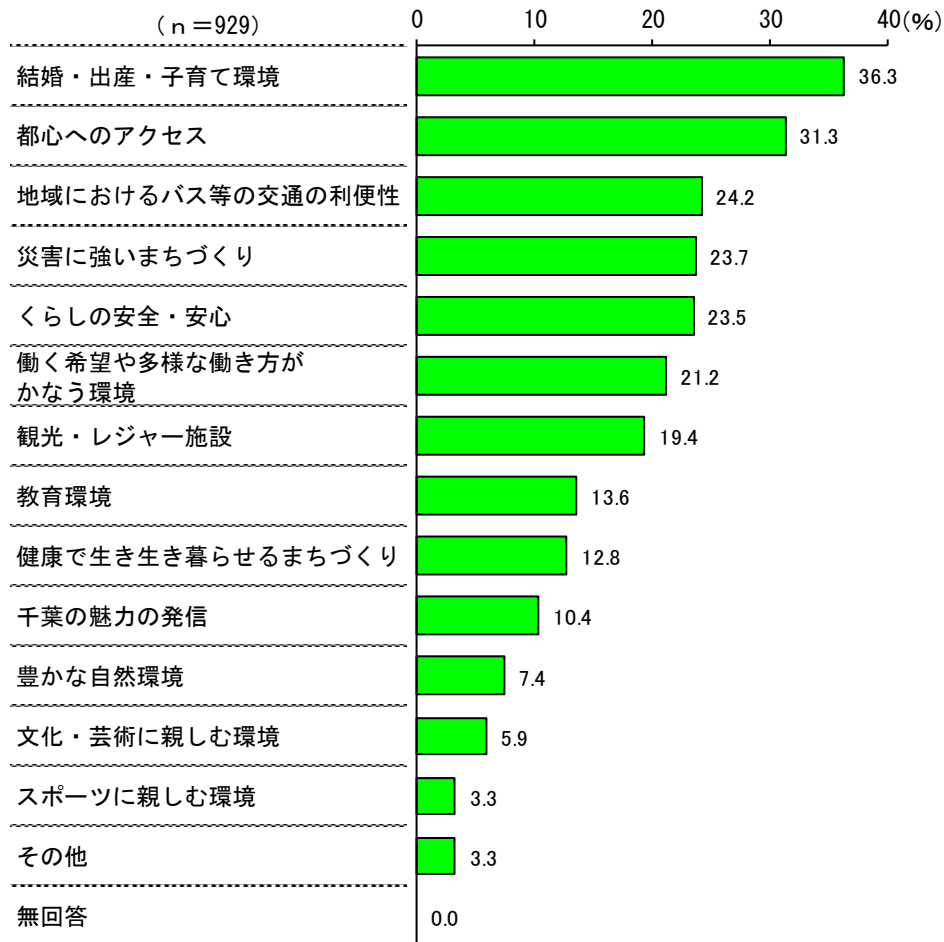
<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なことー高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

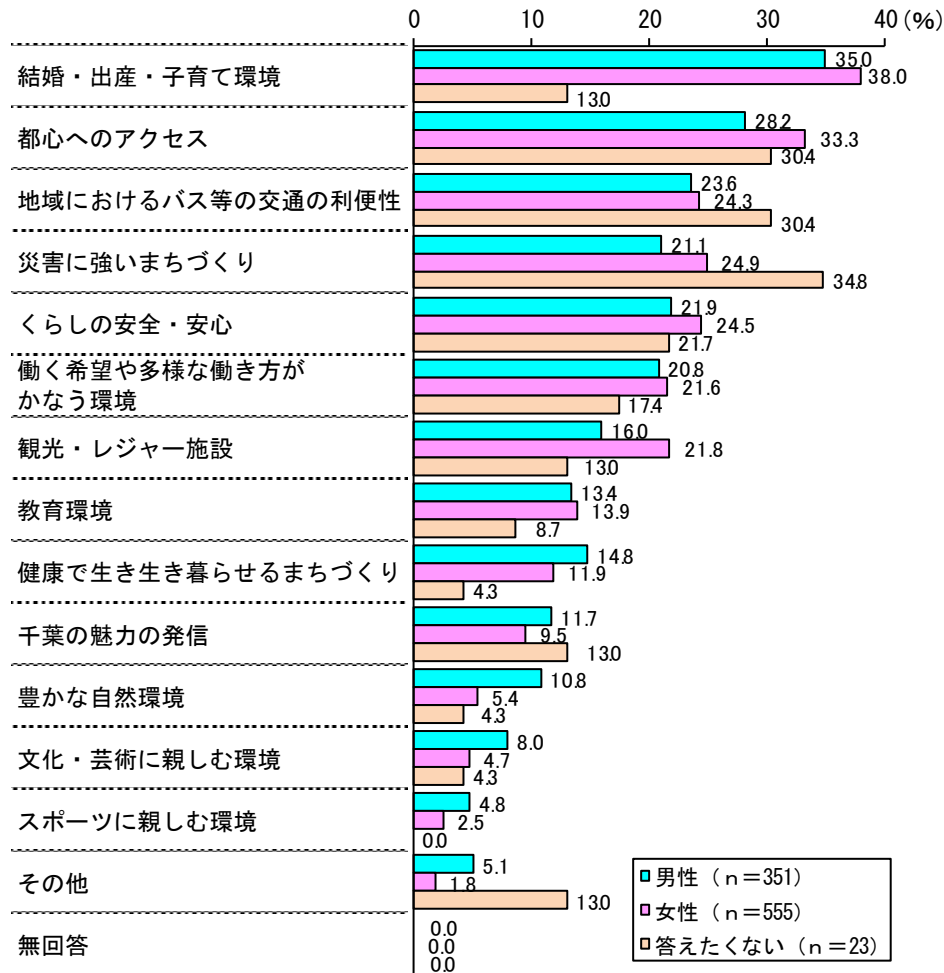
大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことは、「結婚・出産・子育て環境」が36.3%で最も高く、次いで「都心へのアクセス」が31.3%、「地域におけるバス等の交通の利便性」が24.2%、「災害に強いまちづくり」が23.7%、「くらしの安全・安心」が23.5%となっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なことー大学生・短期大学生>



性別で見ると、「観光・レジャー施設」では女性（21.8%）が男性（16.0%）より5.8ポイント、「都心へのアクセス」では女性（33.3%）が男性（28.2%）より5.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「豊かな自然環境」では男性（10.8%）が女性（5.4%）より5.4ポイント高くなっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと－大学生・短期大学生（性別）>



4. 地域の魅力について

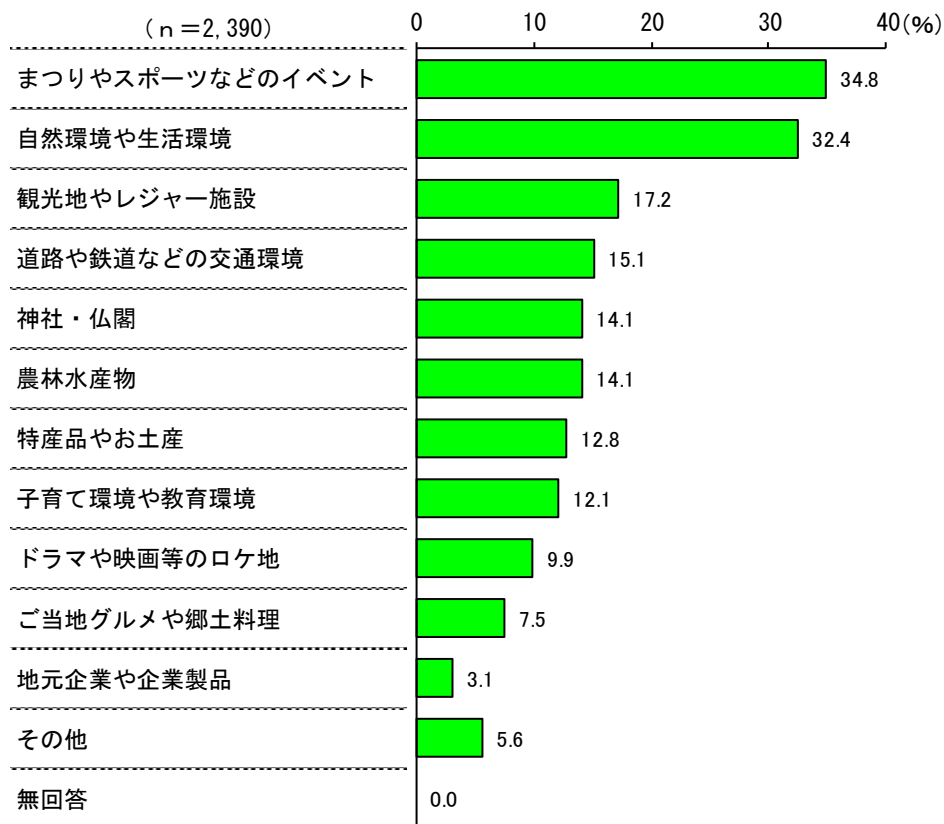
(1) 住んでいる地域の魅力

問 現在住んでいる地域は、どのような魅力があると感じていますか。(複数可)

① 高校生

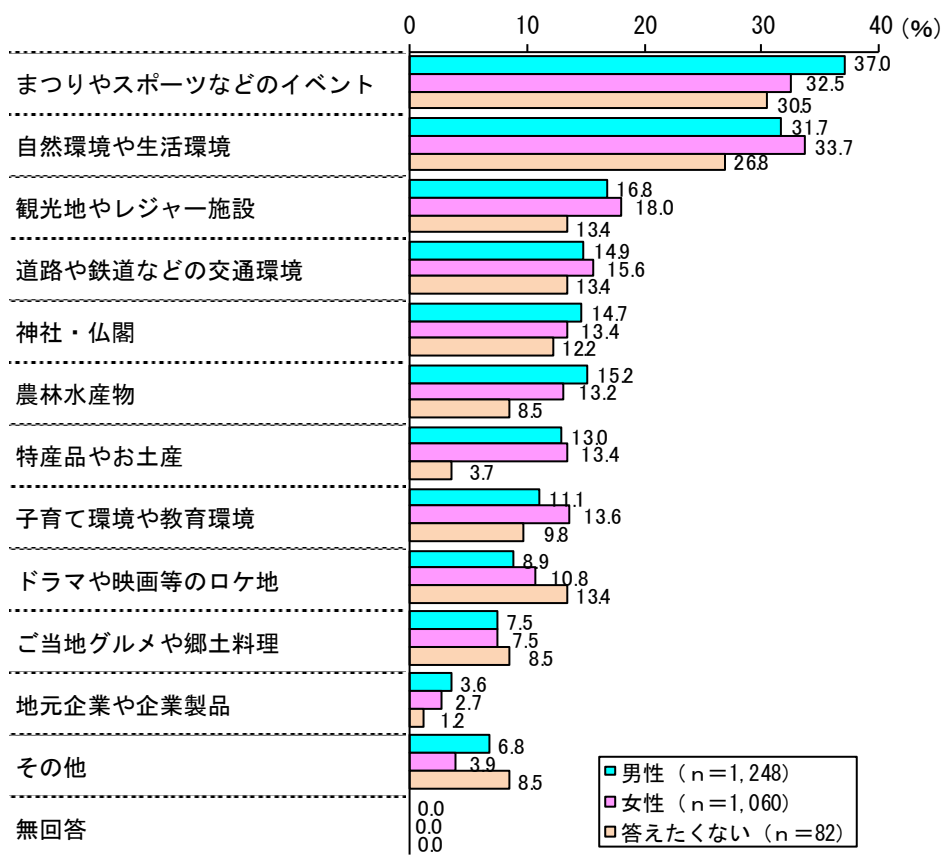
高校生の現在住んでいる地域の魅力については、「まつりやスポーツなどのイベント」が34.8%で最も高く、次いで「自然環境や生活環境」が32.4%、「観光地やレジャー施設」が17.2%、「道路や鉄道などの交通環境」が15.1%となっている。

<図表 住んでいる地域の魅力－高校生>



性別で見ると、「まつりやスポーツなどのイベント」では男性（37.0%）が女性（32.5%）より4.5ポイント高くなっている。

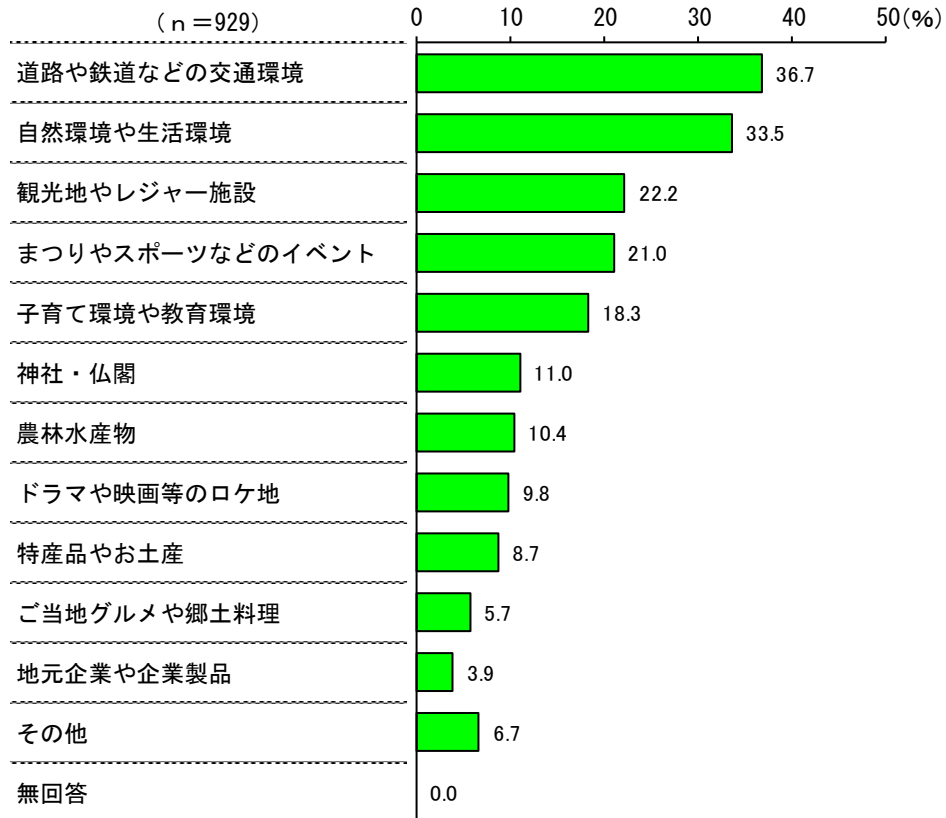
<図表 住んでいる地域の魅力ー高校生（性別）>



② 大学生・短期大学生

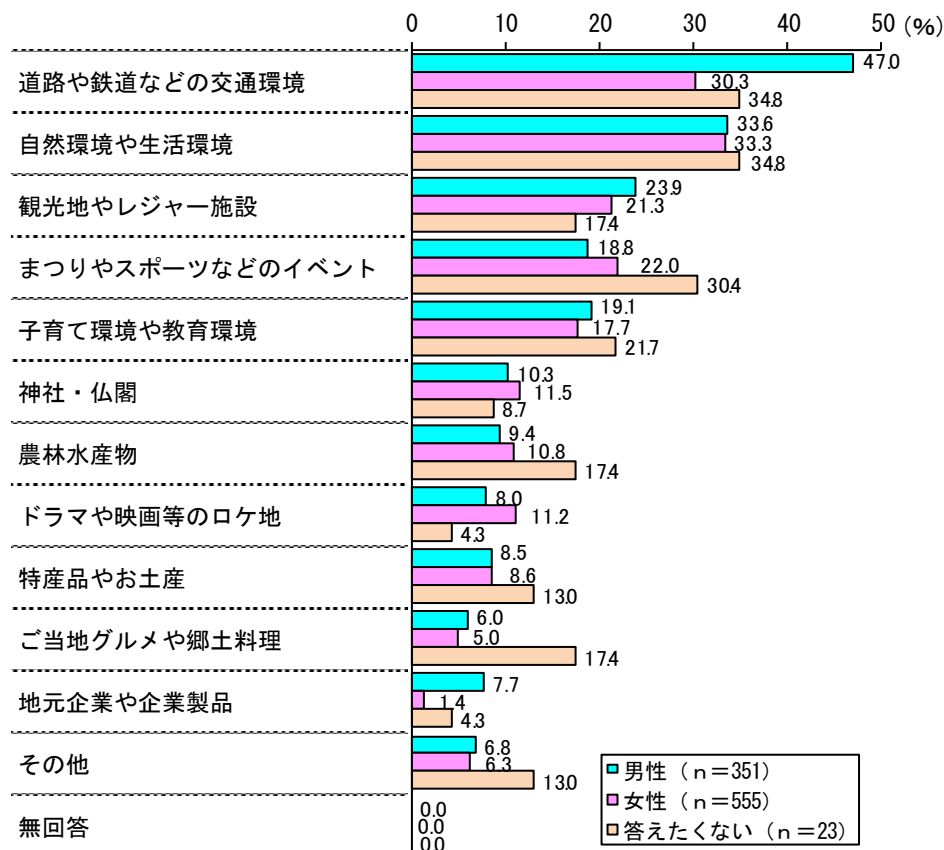
大学生・短期大学生の現在住んでいる地域の魅力については、「道路や鉄道などの交通環境」が36.7%で最も高く、次いで「自然環境や生活環境」が33.5%、「観光地やレジャー施設」が22.2%、「まつりやスポーツなどのイベント」が21.0%、「子育て環境や教育環境」が18.3%となっている。

<図表 住んでいる地域の魅力ー大学生・短期大学生>



性別で見ると、「道路や鉄道などの交通環境」では男性（47.0%）が女性（30.3%）より16.7ポイント、「地元企業や企業製品」では男性（7.7%）が女性（1.4%）より6.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「まつりやスポーツなどのイベント」では女性（22.0%）が男性（18.8%）より3.2ポイント、「ドラマや映画等のロケ地」では女性（11.2%）が男性（8.0%）より3.2ポイント、それぞれ高くなっている。

<図表 住んでいる地域の魅力ー大学生・短期大学生（性別）>

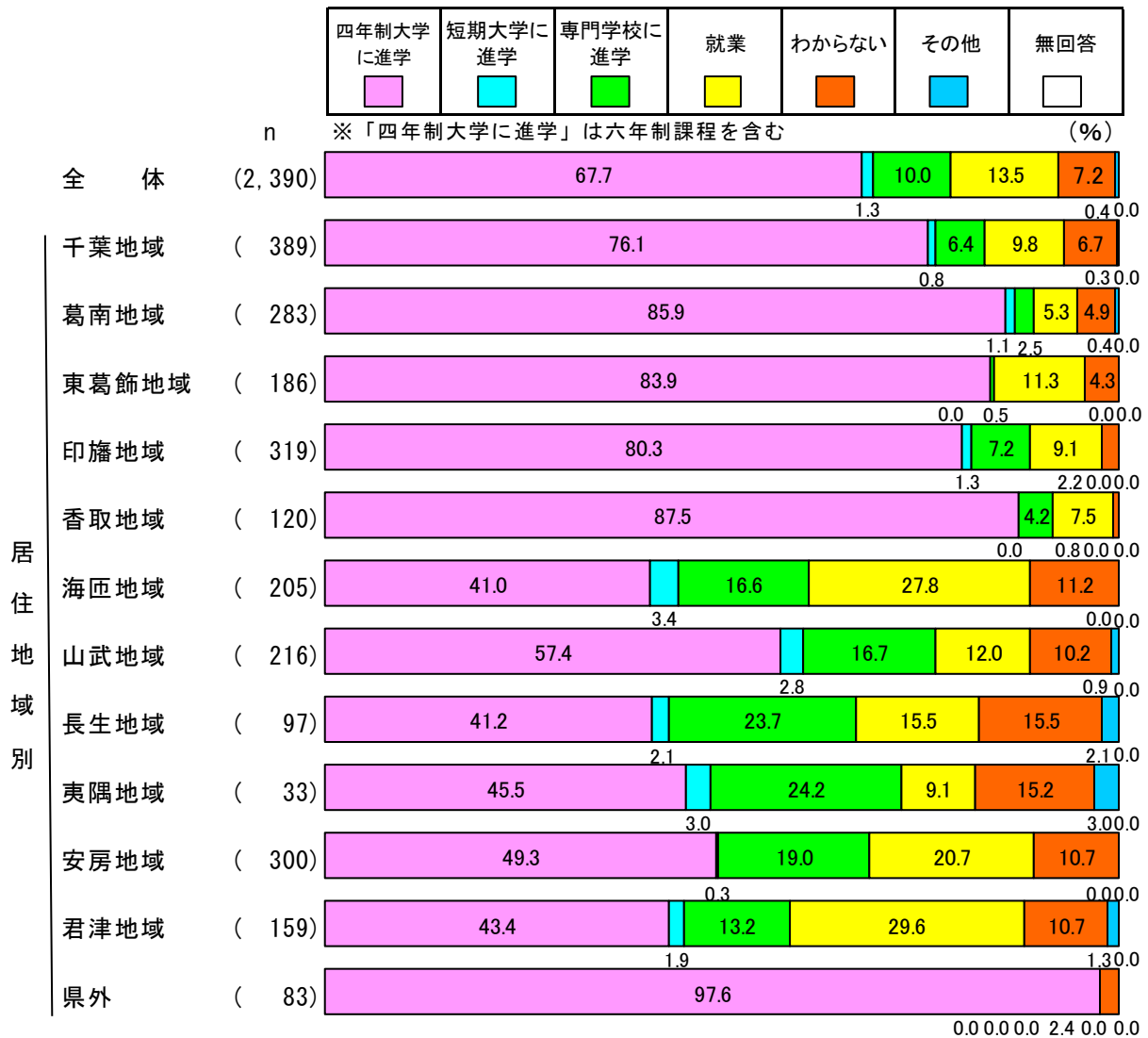


5. 居住地・出身地域別分析

(1) 高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望

高校生の高校卒業後の進路に関する現在の希望を居住地別でみると、「四年制大学に進学」は県外で97.6%、香取地域で87.5%、葛南地域で85.9%、東葛飾地域で83.9%、印旛地域で80.3%と高くなっている。「専門学校に進学」は夷隅地域で24.2%、長生地域で23.7%と高くなっている。「就業」は君津地域で29.6%、海匝地域で27.8%と高くなっている。「就業」は君津地域で29.6%、海匝地域で27.8%と高くなっている。

<図表 高校卒業後の進路に関する現在の希望－高校生（居住地別）>



(2) 高校生の第一志望の学校の所在地

高校生の第一志望の学校の所在地を居住地域別でみると、「千葉県内」は海匝地域で 50.4%、長生地域で 44.6%、夷隅地域で 41.7%と高くなっている。「東京都(23区内)」は東葛飾地域で 41.4%と高くなっている。

<図表 第一志望の学校の所在地—高校生（居住地域別）>



(3) 高校生の就業を希望している業界

高校生の就業を希望している業界を居住地域別でみると、「医療」は葛南地域、印旛地域、香取地域、山武地域、長生地域、安房地域の6地域で第1位となっている。(同率1位を含む)

「IT関係、ソフトウェア」は千葉地域、東葛飾地域、海匝地域、君津地域の4地域で第1位となっている。(同率1位を含む)

「教育、保育」は海匝地域、山武地域、夷隅地域の3地域で第1位となっている。(同率1位を含む)

「官公庁・公社・団体」は県外で第1位となっている。

<図表 就業を希望している業界－高校生（居住地域別・上位5業界）>

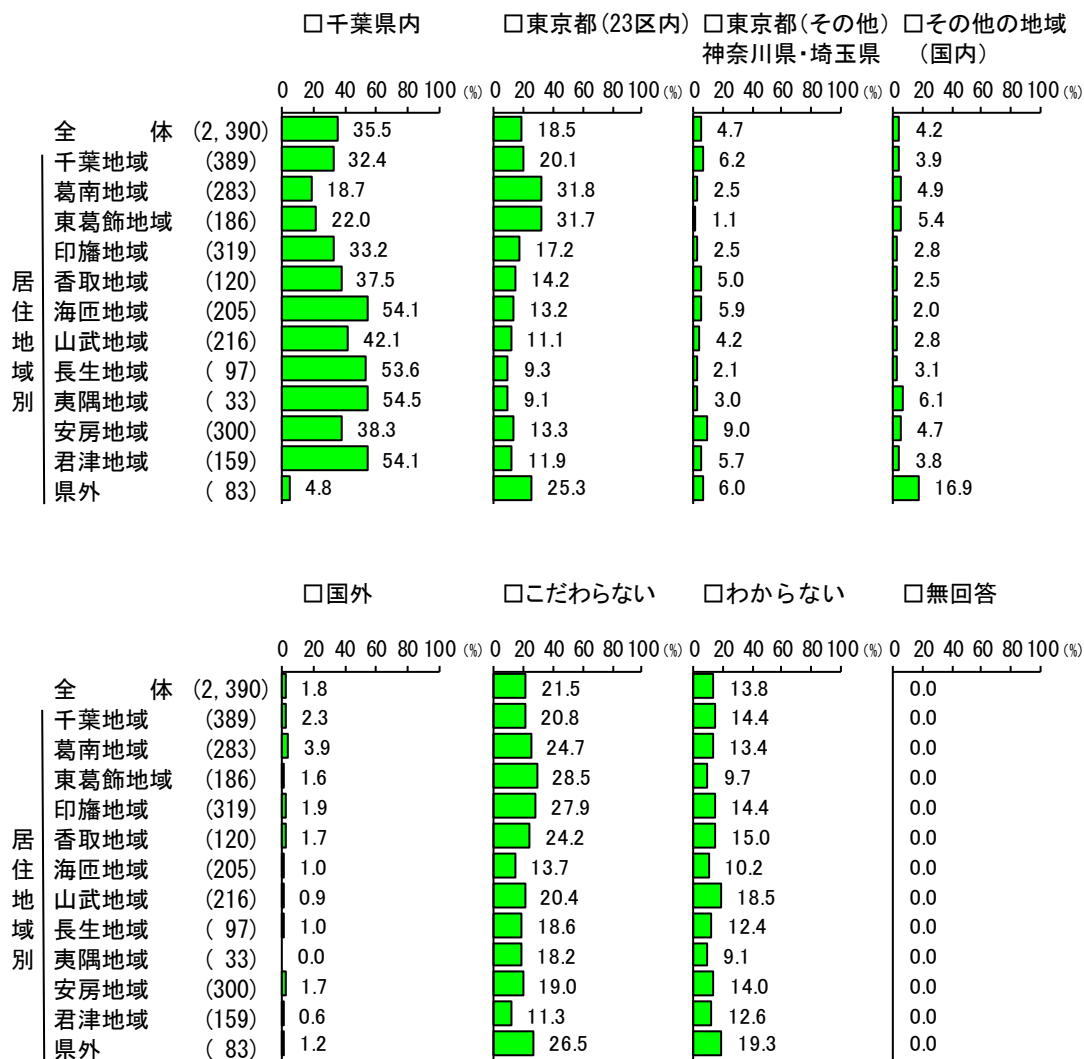
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		2,390	医療 (11.3)	IT関係、ソフトウェア (9.9)	教育、保育 (7.5)	官公庁・公社・団体 (4.7)	建設 (4.1)
居 住 地 域 別	千葉地域	389	IT関係、ソフトウェア (13.6)	医療 (10.3)	教育、保育 (7.2)	金融、保険、不動産 (5.9)	官公庁・公社・団体 (4.4)
	葛南地域	283	医療 (12.4)	IT関係、ソフトウェア (10.6)	金融、保険、不動産 (5.3)	官公庁・公社・団体 (4.9)	マスコミ、出版、印刷 ／学術研究、専門・技 術サービス (4.6)
	東葛飾地域	186	IT関係、ソフトウェア (14.5)	医療 (10.8)	食品、農林、水産 (8.6)	学術研究、専門・技術サービス／教育、保 育 (5.4)	
	印旛地域	319	医療 (12.2)	教育、保育 (9.4)	IT関係、ソフトウェア (8.2)	官公庁・公社・団体 (6.3)	建設 (5.0)
	香取地域	120	医療 (20.0)	IT関係、ソフトウェア (7.5)	学術研究、専門・技術サービス／教育、保育／官公庁・公社・団 体 (5.8)		
	海匝地域	205	IT関係、ソフトウェア／教育、保育 (9.3)		建設 (8.3)	医療 (7.3)	製造 (6.8)
	山武地域	216	教育、保育／医療 (10.2)		IT関係、ソフトウェア (9.3)	官公庁・公社・団体 (3.7)	製造／マスコミ、出 版、印刷／金融、保 険、不動産／学術研 究、専門・技術サー ビス (2.8)
	長生地域	97	医療 (11.3)	教育、保育 (8.2)	IT関係、ソフトウェア (7.2)	官公庁・公社・団体 (5.2)	製造 (4.1)
	夷隅地域	33	教育、保育 (18.2)	IT関係、ソフトウェア (15.2)	医療 (12.1)	官公庁・公社・団体 (6.1)	建設／鉄道、航空、運 輸、物流／金融、保 険、不動産／学術研 究、専門・技術サー ビス／家業承継 (3.0)
	安房地域	300	医療 (13.3)	建設 (7.3)	教育、保育 (6.7)	IT関係、ソフトウェア (5.0)	食品、農林、水産 (4.7)
	君津地域	159	IT関係、ソフトウェア (12.6)	医療 (8.8)	教育、保育 (6.9)	学術研究、専門・技 術サービス (5.7)	官公庁・公社・団体 (4.4)
	県外	83	官公庁・公社・団体 (12.0)	学術研究、専門・技術サービス／教育、保育／医療 (8.4)			IT関係、ソフトウェア (7.2)

※「その他」「こだわらない」「わからない」「無回答」は除く

(4) 高校生の将来勤務する希望地

高校生の将来勤務する希望地を居住地域別でみると、「千葉県内」は夷隅地域で54.5%、海匠地域で54.1%、君津地域で54.1%、長生地域で53.6%と高くなっている。「東京都(23区内)」は葛南地域で31.8%、東葛飾地域で31.7%と高くなっている。

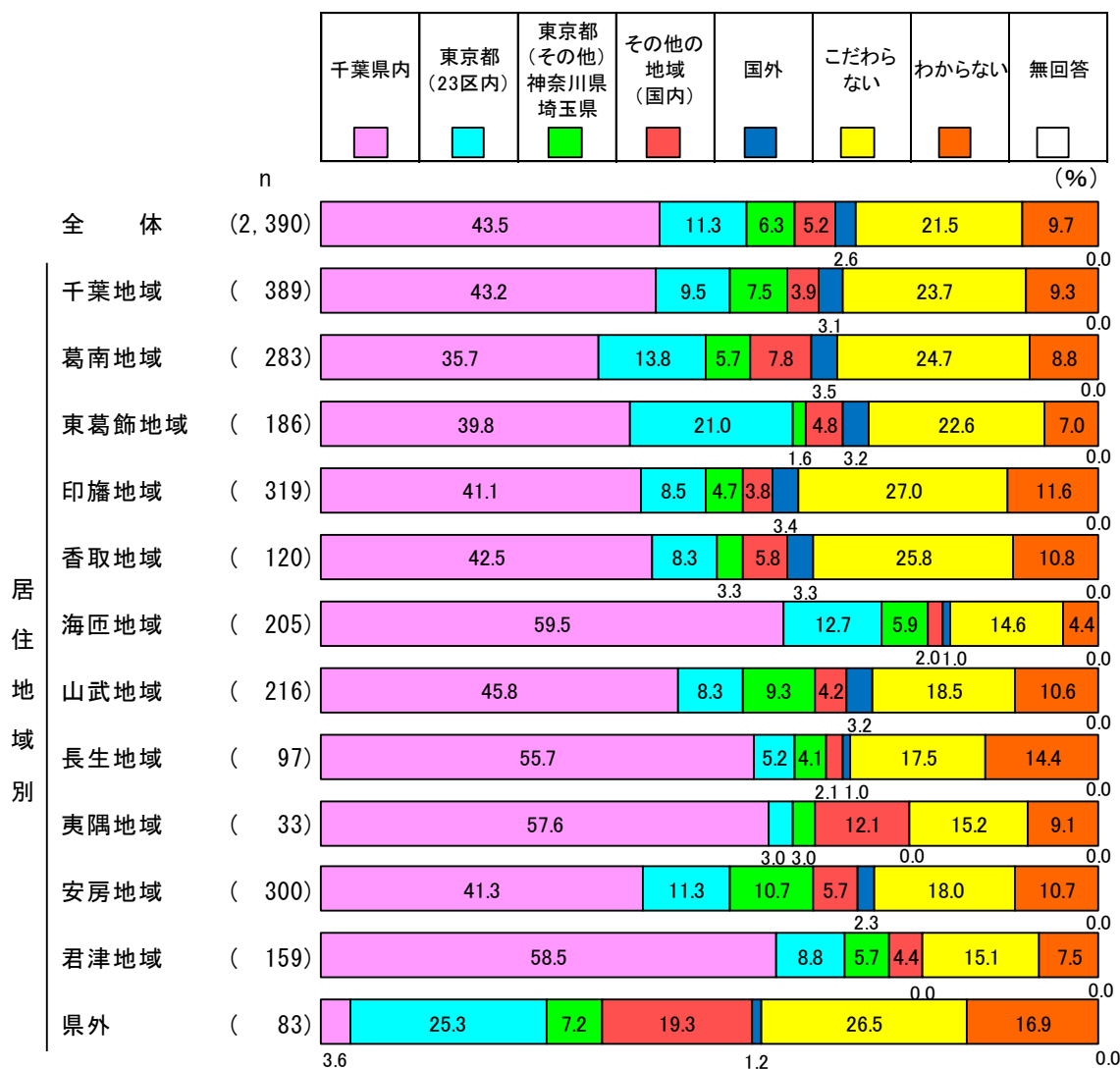
<図表 将来勤務する希望地—高校生(居住地域別)>



(5) 高校生の就業後の居住地の希望

高校生の就業後の居住地の希望を居住地域別で見ると、「千葉県内」は海匝地域で59.5%、君津地域で58.5%、夷隅地域で57.6%、長生地域で55.7%と高くなっている。「東京都(23区内)」は県外で25.3%と高くなっている。

<図表 就業後の居住地の希望—高校生(居住地域別)>



(6) 高校生の千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

高校生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことを居住地域別でみると、「結婚・出産・子育て環境」は香取地域で37.5%、東葛飾地域で36.0%と高くなっている。「災害に強いまちづくり」は長生地域で34.0%と高くなっている。

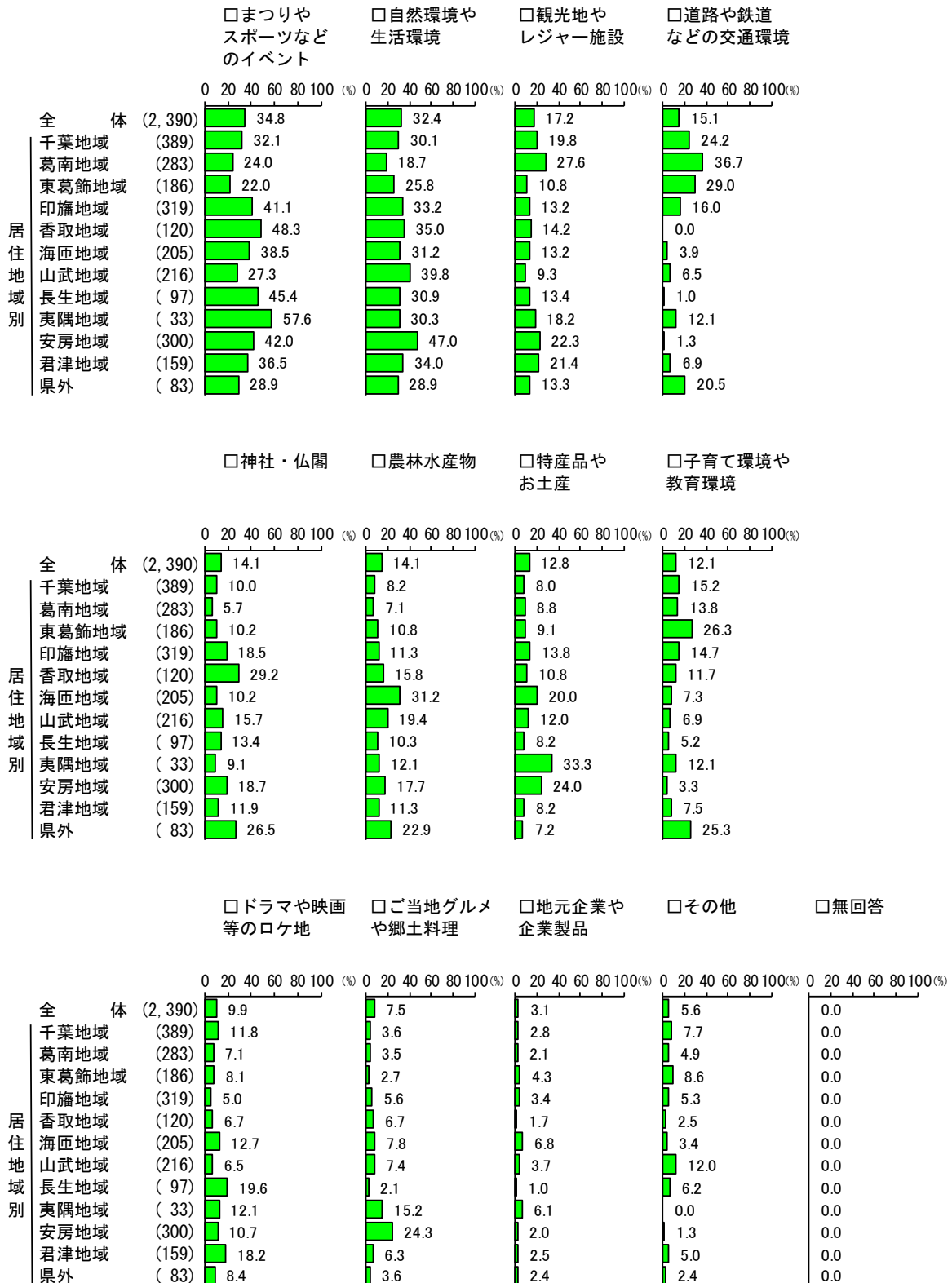
＜図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと－高校生（居住地域別）＞



(7) 高校生の住んでいる地域の魅力

高校生の現在住んでいる地域の魅力について居住地域別でみると、「まつりやスポーツなどのイベント」は夷隅地域で57.6%、香取地域で48.3%、長生地域で45.4%と高くなっている。「自然環境や生活環境」は安房地域で47.0%と高くなっている。「観光地やレジャー施設」は葛南地域で27.6%と高くなっている。「道路や鉄道などの交通環境」は葛南地域で36.7%、東葛飾地域で29.0%と高くなっている。

<図表 住んでいる地域の魅力－高校生（居住地域別）>



(8) 大学生・短期大学生の就業を希望している業界

大学生・短期大学生の就業を希望している業界を居住地域別でみると、「教育・保育」は千葉地域、東葛飾地域、印旛地域、香取地域、海匝地域、長生地域、夷隅地域、安房地域、君津地域、県外の10地域で第1位となっている。

「IT関係、ソフトウェア」は葛南地域の1地域で第1位となっている。

「医療」は山武地域の1地域で第1位となっている。

<図表 就業を希望している業界—大学生・短期大学生（居住地域別・上位5業界）>

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
全 体		929	教育、保育 (25.1)	医療 (17.1)	IT関係、ソフトウェア (9.3)	官公庁・公社・団体 (6.5)	製造 (6.4)	
居 住 地 域 別	千葉地域	297	教育、保育 (20.2)	医療 (18.9)	製造／官公庁・公社・団体 (7.7)		IT関係、ソフトウェア (7.1)	
	葛南地域	140	IT関係、ソフトウェア (21.4)	教育、保育 (16.4)	医療 (12.9)	製造 (9.3)	学術研究、専門・技術サービス (7.1)	
	東葛飾地域	62	教育、保育 (17.7)	IT関係、ソフトウェア／官公庁・公社・団体 (11.3)		医療 (9.7)	建設／製造 (8.1)	
	印旛地域	95	教育、保育 (52.6)	医療 (11.6)	製造／IT関係、ソフトウェア (6.3)		官公庁・公社・団体 (4.2)	
	香取地域	22	教育、保育 (72.7)	医療 (9.1)	IT関係、ソフトウェア／福祉 (4.5)			
	海匝地域	25	教育、保育 (68.0)	医療 (16.0)	製造／学術研究、専門・技術サービス／官公庁・公社・団体 (4.0)			
	山武地域	124	医療 (32.3)	教育、保育 (16.1)	鉄道、航空、運輸、物流 (7.3)	アミューズメント、レジャー／官公庁・公社・団体 (4.0)		
	長生地域	13	教育、保育 (53.8)	IT関係、ソフトウェア／医療 (15.4)		学術研究、専門・技術サービス (7.7)		
	夷隅地域	3	教育、保育 (66.7)					
	安房地域	1	教育、保育 (100.0)					
君津地域	27	教育、保育 (29.6)	医療 (18.5)	IT関係、ソフトウェア／学術研究、専門・技術サービス (11.1)		官公庁・公社・団体 (7.4)		
県外	120	教育、保育 (15.0)	医療 (12.5)	IT関係、ソフトウェア／学術研究、専門・技術サービス (10.8)		建設 (9.2)		

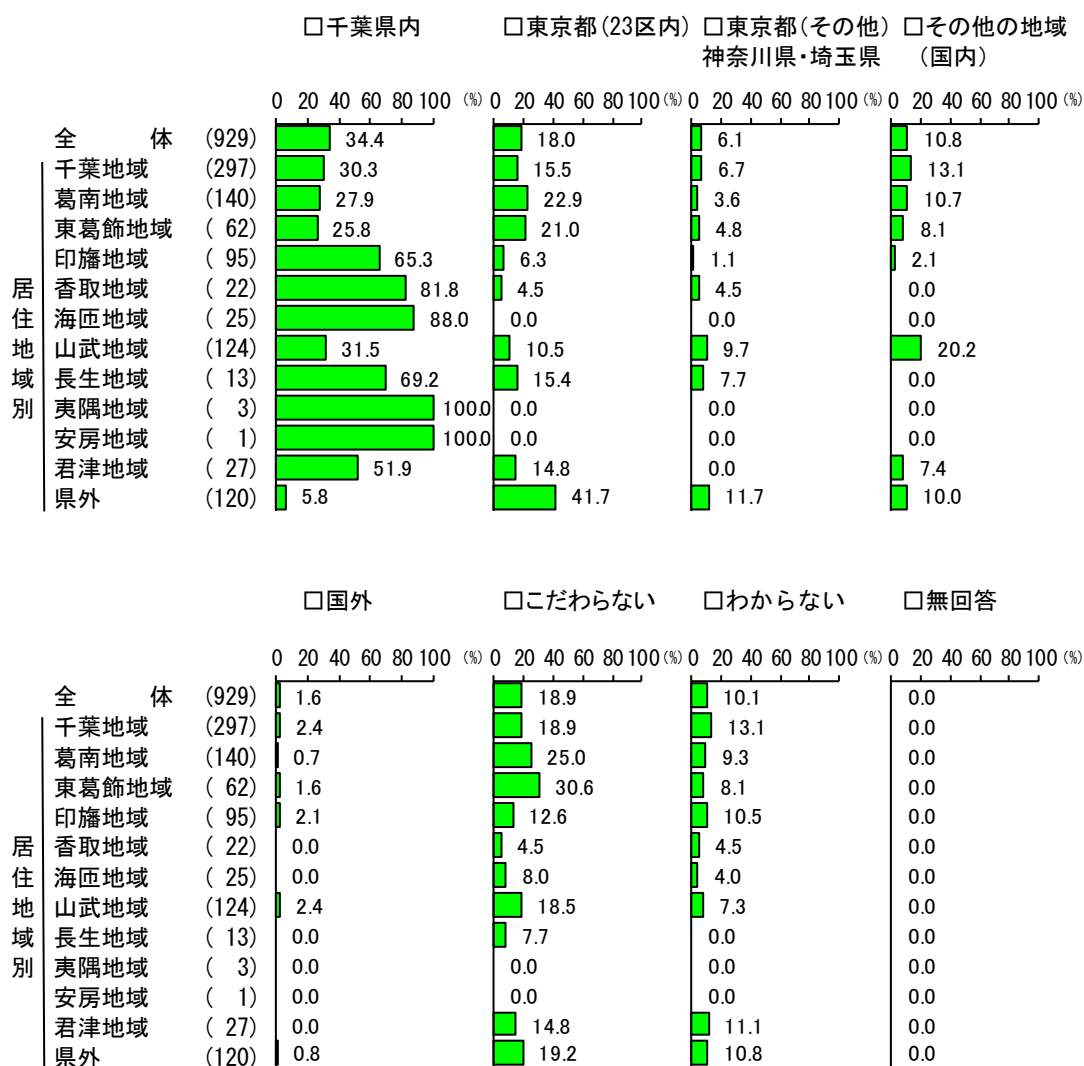
※「その他」「こだわらない」「わからない」「無回答」は除く

(9) 大学生・短期大学生の将来勤務する希望地

大学生・短期大学生の将来勤務する希望地を居住地地域別で見ると、「千葉県内」は、海匝地域で88.0%、香取地域で81.8%と高くなっている。夷隅地域と安房地域は100.0%と高いが、基数が少ないため参考情報とする。

また、「東京都（23区内）」は県外で41.7%と高くなっている。

<図表 将来勤務する希望地—大学生・短期大学生（居住地地域別）>

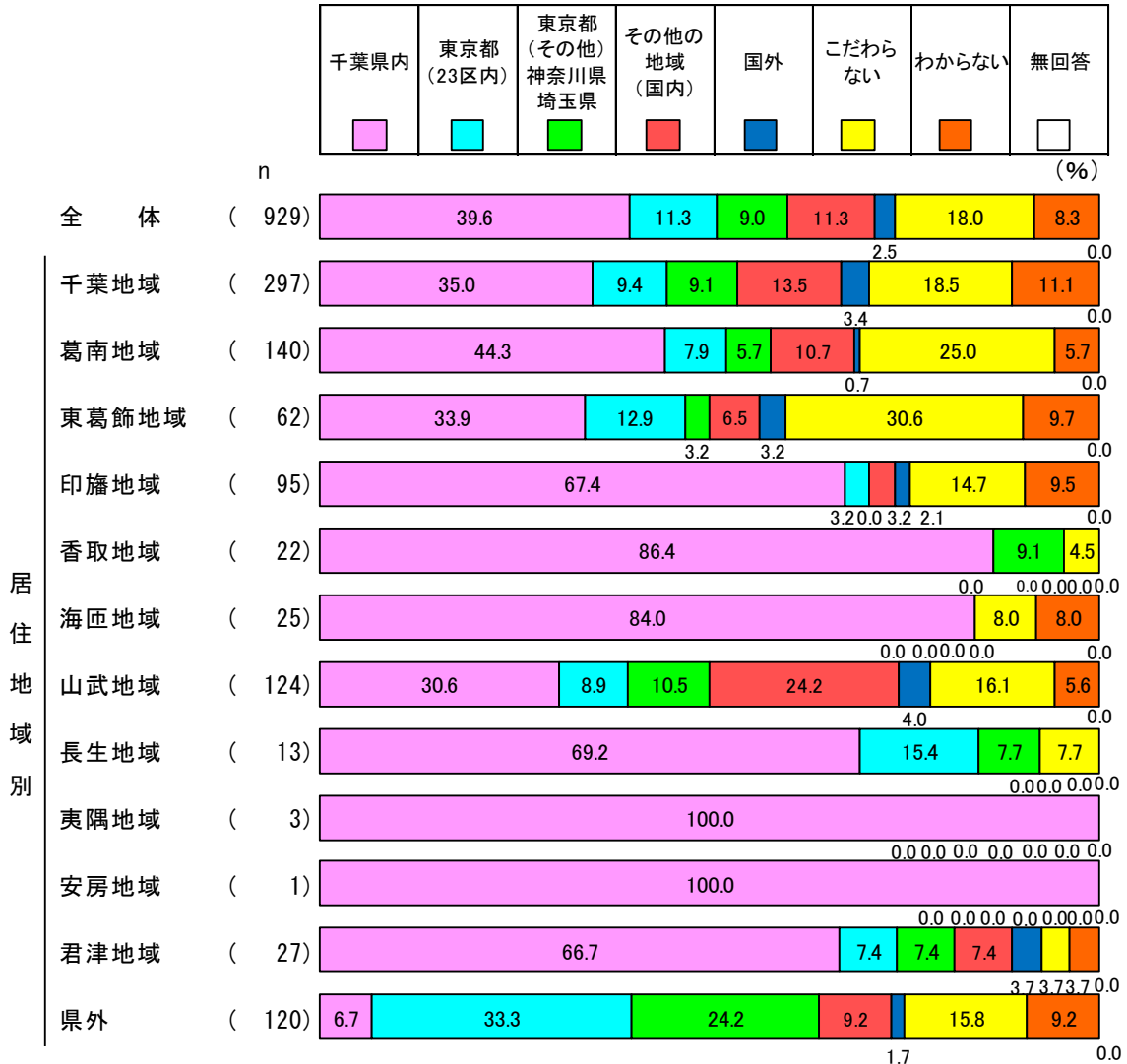


(10) 大学生・短期大学生の就業後の居住地の希望

大学生・短期大学生の就業後の居住地の希望を居住地域別でみると、「千葉県内」は香取地域で86.4%、海匝地域で84.0%と高くなっている。夷隅地域、安房地域は100.0%と高いが、基数が少ないため参考情報とする。

また、「東京都（23区内）」は県外で33.3%と高くなっている。

<図表 就業後の居住地の希望－大学生・短期大学生（居住地域別）>

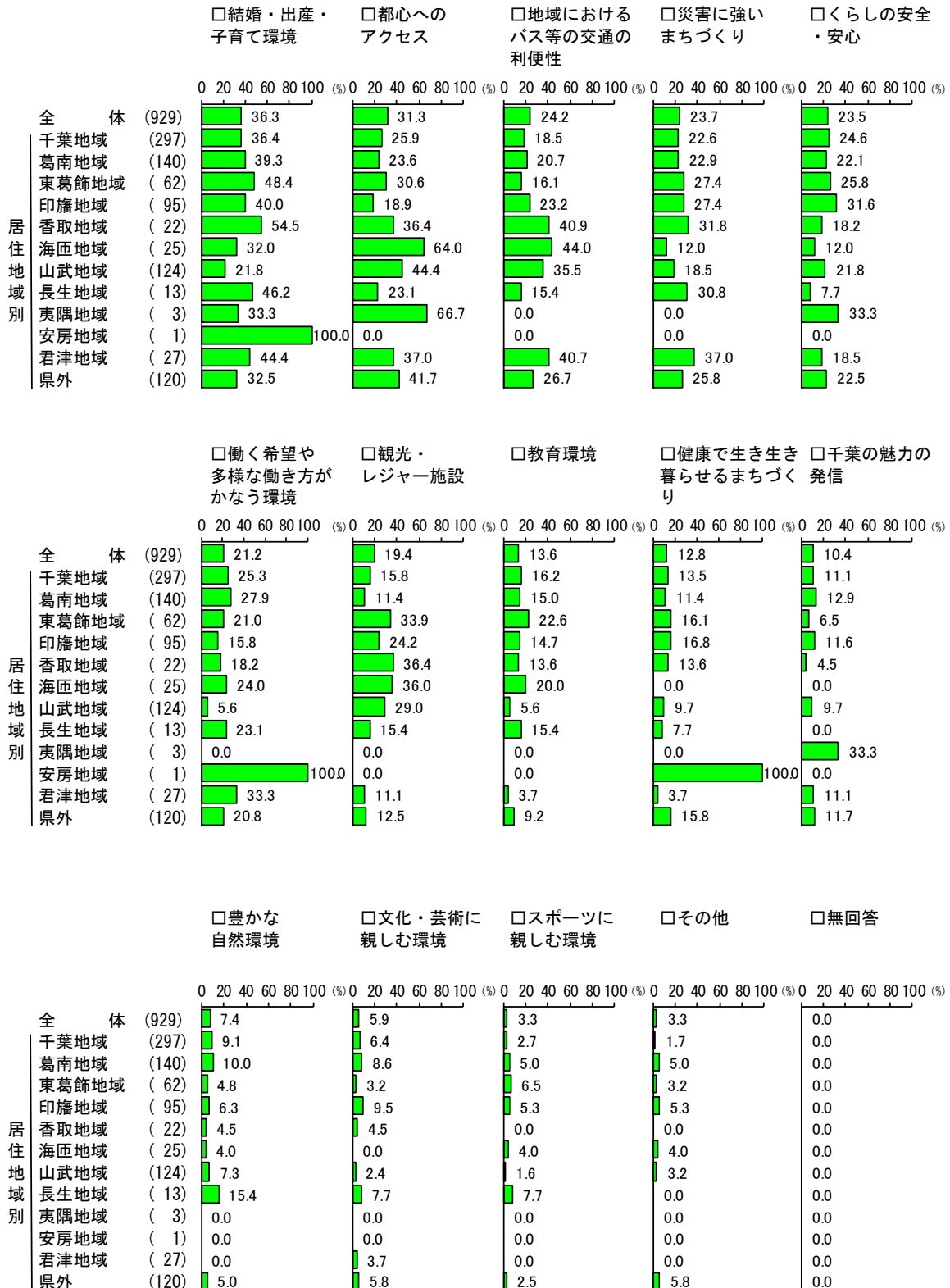


(11) 大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことを居住地域別で見ると、「結婚・出産・子育て環境」は香取地域で54.5%、東葛飾地域で48.4%と高くなっている。安房地域は100.0%と高いが、基数が少ないため参考情報とする。

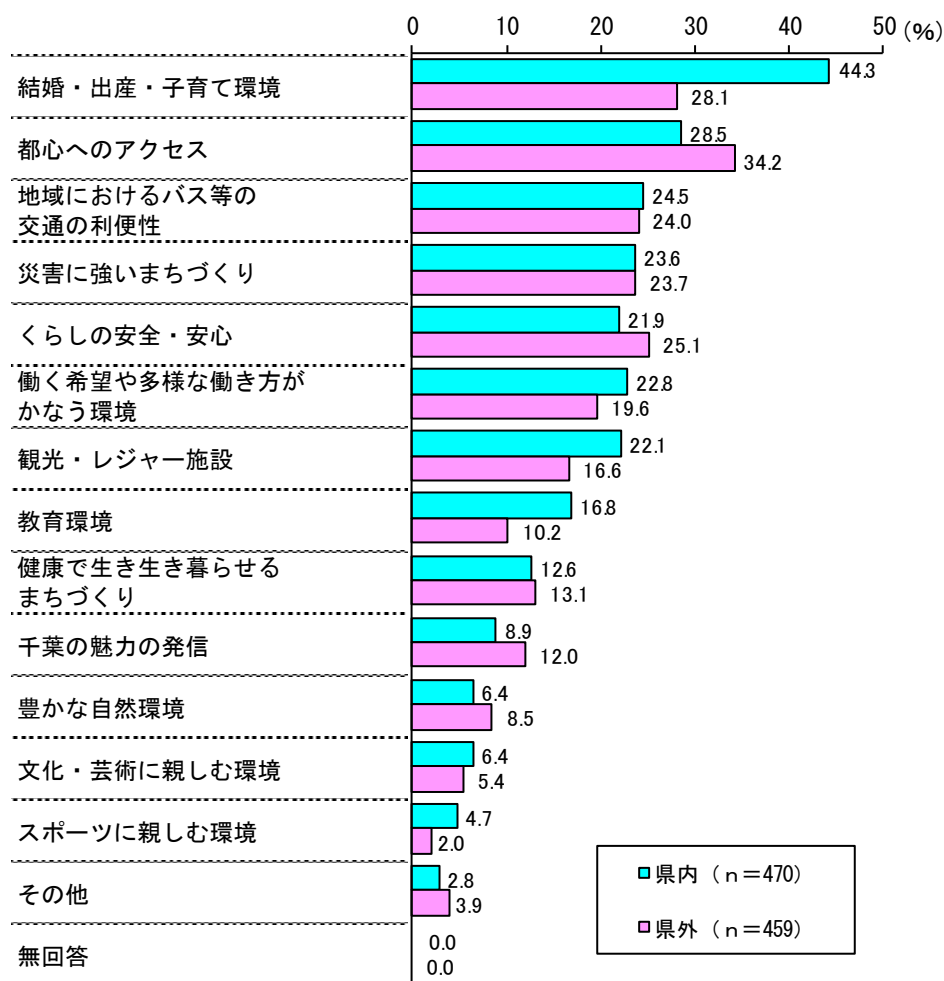
また、「都心へのアクセス」は、海匝地域で64.0%、山武地域で44.4%、県外で41.7%と高くなっている。夷隅地域は66.7%と高いが、基数が少ないため参考情報とする。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと－大学生・短期大学生（居住地域別）>



大学生・短期大学生の千葉県が居住地として選ばれるために特に改善が必要なことを出身地別で見ると、「結婚・出産・子育て環境」は県内出身者（44.3%）が県外出身者（28.1%）より16.2ポイント、「教育環境」は県内出身者（16.8%）が県外出身者（10.2%）より6.6ポイント、「観光・レジャー施設」は県内出身者（22.1%）が県外出身者（16.6%）より5.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「都心へのアクセス」は県外出身者（34.2%）が県内出身者（28.5%）より5.7ポイント高くなっている。

<図表 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと—大学生・短期大学生（出身地別）>

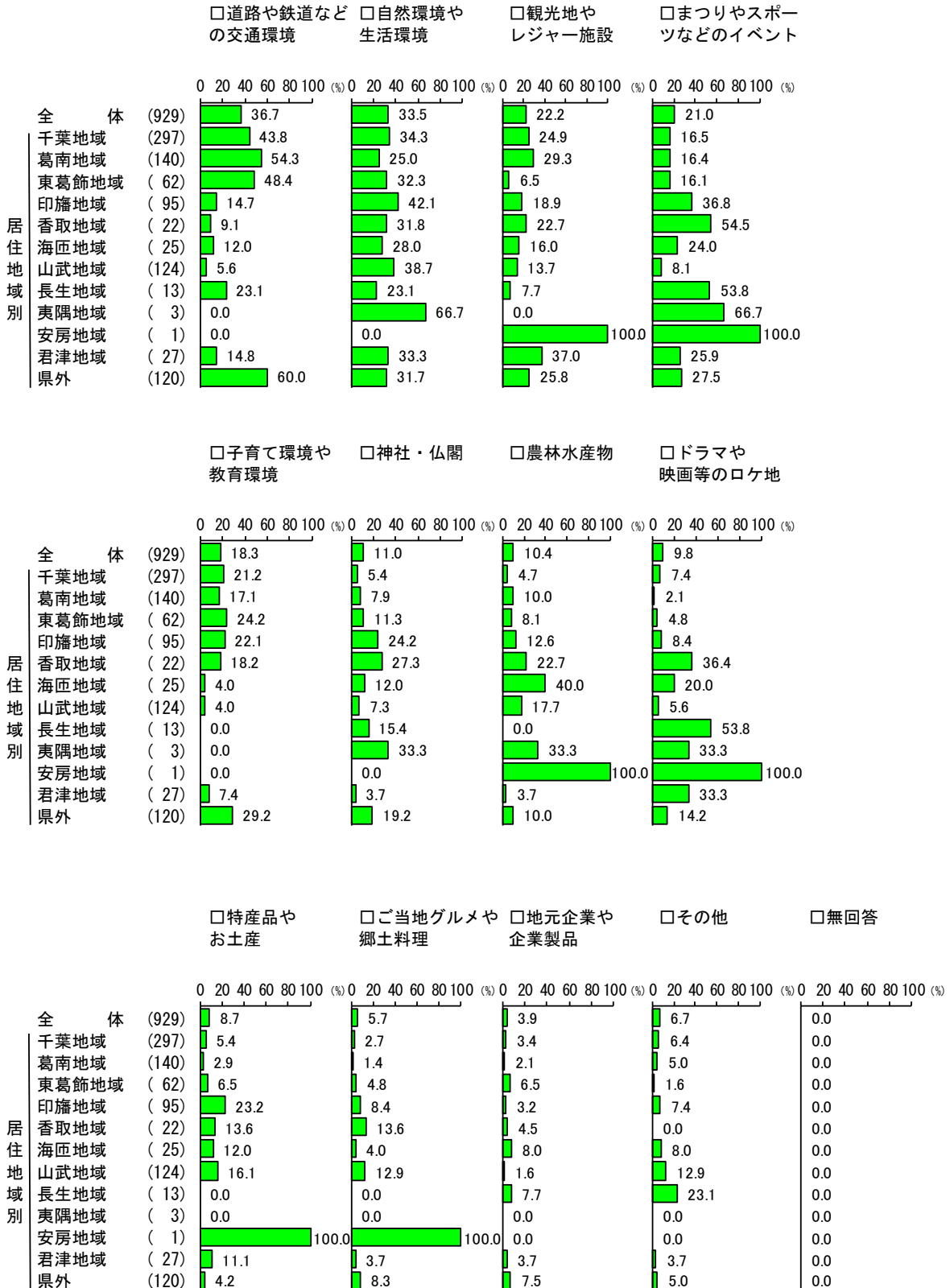


(12) 大学生・短期大学生の住んでいる地域の魅力

大学生・短期大学生の現在住んでいる地域の魅力について居住地域別でみると、「道路や鉄道などの交通環境」は県外で60.0%、葛南地域で54.3%と高くなっている

また、「観光地やレジャー施設」は、君津地域で37.0%と高くなっている。安房地域は100.0%と高いが、基数が少ないため参考情報とする。

<図表 住んでいる地域の魅力—大学生・短期大学生（居住地域別）>



大学生・短期大学生の現在住んでいる地域の魅力について出身地別で見ると、「まつりやスポーツなどのイベント」は県内出身者（27.7%）が県外出身者（14.2%）より13.5ポイント、「神社・仏閣」は県内出身者（13.8%）が県外出身者（8.1%）より5.7ポイント、「農林水産物」は県内出身者（12.8%）が県外出身者（8.1%）より4.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「道路や鉄道などの交通環境」は県外出身者（43.8%）が県内出身者（29.8%）より14.0ポイント高くなっている。

<図表 住んでいる地域の魅力ー大学生・短期大学生（出身地別）>

